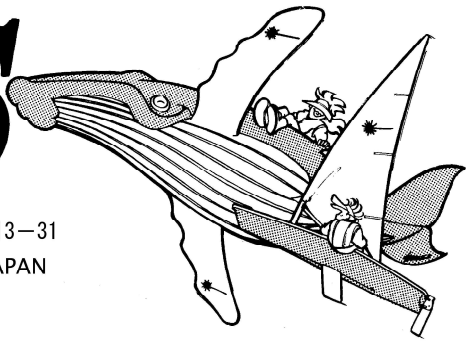
Japan Laser Class Association OCT./2021 No.246

News



一般社団法人
日本レーザークラス協会 事務局：〒252-1114 神奈川県綾瀬市上土棚南３丁目13−31
Head Office:3-13-31 Kamitsuchitana-Minami, Ayase, Kanagawa 252-1114 JAPAN
Tel&Fax：0467-76-1103 Email：info@laserjapan.org
Website:http://www.laserjapan.org/

東京2020レポート！全日本マスターズ＆2021All Japan公示！

Laser Beam

Laser 誕生から50年(半世紀) !!

「誰もがトップレーサーと同じギアでレースに参加できる !!」資金力が無ければ参加すらできなかったヨットレースを「艇体もマストもセイルも全員が同じ」という画期的なコンセプトで、そのアイディアに賛同した世界中のトップレーザー達をその伝道師とし、瞬く間に世界中に普及させたイアン ブルースを記録したフィルムが発見され、ILCA の働きで50周年記念としてYoutube で見られるようになりました。

https://www.onf.ca/film/boat-that-ian-built/?fbclid=IwAR2gIijicJYYIFfZ8wMKZIw0eFu5XOKpLSu1pB2UgvO7XFwdVDVW_ACySTo

創始者イアン ブルース(2016年没)に続き、設計者のブルースカービーも先日92歳で亡くなってしまったが、レーザーの普及は国際クラス協会と従来からのビルダーである PSA, PSJ に加え、昨年認定された世界６ビルダー(認定ビルダーから外れたLaser Performance に代わって ILCA という商品名で製造を始めた)の協力の下に脈々と流れ、次の半世紀に向けて着実な歩みだしを遂げています。

日本での普及は雑誌Yachting1993年４月号でも読むことができます。Yachting 誌の許可のもとに日本レーザークラス協会のWEB 上でもその記事を読めるようになりました。1974 年第一号からのLaserNews と併せて目を通し、この50年の活動をみてください。

Yachiting1993 年４月号 http://www.laserjapan.org/wp-content/uploads/2021/10/Yachting-1993.4.pdf (提供 yachting)
購入及びその他の記事は
http://www.yachting.jp/products/list.php?category_id=35
LaserNews
http://www.laserjapan.org/Pdf_Archive/LaserNews_BackNumber.pdf

国際セクレタリー 大谷たかを

江の島バックのスタートライン、ライン中央左で第一線を狙う土居
堤防上の白灯台の左側に見える足長建物はレース海面丸見えの特設放送席、日本語放送担当はアテネ五輪代表佐藤マイコ

Junichi Hirai/BULKHEAD magazine JAPAN

レース中盤から早くも頭を出す DEN (Gold), SWE (Silver)　DEN は境港ワールドでも優勝した Anne-Marie Rindom

Junichi Hirai/BULKHEAD magazine JAPAN

Junichi Hirai/BULKHEAD magazine JAPAN

一般観客はゼロ、関係者のみの応援席前へのウイニングラン(AUS) Matt Wearn　　このエリアは普段からあまりセーリングしない危険エリア！！
49erFX のメダルレースで Gold チームがここで FX から飛び込んでコーチと抱き合って祝福した後、チンを起こしたらトップマストが折れていた！！

Laser

新商品

■Composite Radial Lower Mast

■特性
・既存のアルミマストと同じ曲がりとパフォーマンス特性で設計
・アルミマストによくあるパーマネントベンドは無くなります
・折れてしまうことも極度に少なくなりますが、扱いはデリケートです
・気になるマストホールデッキ面での擦れ止めはステンレス製で
がっちり接着されています（プロテクトテープは不要です！）

税込価格￥98,450（税抜￥89,500 ）

■コンポジットラジアルロアーマスト カバー

繊細なカーボンコンポジットマストの保管には必需品です！

■特性
・紫外線カットの生地で作られカーボン繊維を保護します
・少し厚手の生地なのでキズや擦れからマストを守ります
・入り口は出し入れし易いL字型のベルクロテープ式
（ヘビーデューティー素材です）

税込価格￥4,620（税抜￥4,200 ）

TORNADO　残り1隻のみ！

■TORNADO BOATS 7.8m RIB

東京オリンピックレスキュー艇仕様（限定中古艇販売）

■仕様内容
・YAMAHA 200HP（200L燃料タンク）※アワーメーター：148H
・4点リフティングアイ、トランサムロッカー、Treadmaster製ノンスリップフロアー
・Sewer製サンブレラオーニング、ミサキ社製船台、フェンダー、もやいロープ
・定員10名（インフレータブルライフジャケット、船検備品含む）
・船底塗装（再塗装済み）　輸送費は別途

税込価格￥6,600,000（税抜￥6,000,000）

保管場所：神奈川県綾瀬市

更にお値引きします！

■PSJオンラインショップ

Laserパーツを日本全国に発送いたします。
（商品代引き、クレジット決済、ゆうちょ銀行振込）
ご注文はこちらから！⇒

パフォーマンス セイルクラフト ジャパン 株式会社

〒252-1114　神奈川県綾瀬市上土棚南3-13-31　Tel 0467-76-1051
E-mail ：shop@psjpn.co.jp　Fax 0467-76-1052
https://psjpn.co.jp/

TOKYO 2020

ハーバー全景 左からレース運営関係テント、コーチボートポンツーン、プレス vs 選手ミックッスゾーン、ウインド艇庫＆テント、更衣室シャワートイレ(手前屋根)、中央ディンギーパーク(暑さ対策に各チームにがテント提供された)その向こう計測テント、プレス放送席、新築セイリングセンター、保安庁、手前は持ち込まれた各国のコンテナー(写真では見えないが ハーバー前の道路を挟んだところにも同じようなコンテナー村)右端は大磯選手村との間の大型送迎バス

2012 年ロンドン大会に 19 歳でデビュー、今回は３度目のオリンピックとなる土居愛実にとって今回の大会はホームウォーターでの大会でもあり十分にメダルを狙える実力を持っての挑戦。男子の南里は 10 余年間の挑戦ののち初めてのオリンピック海外選手がコロナのため来日しての練習ができない状況のなか、日本チームは若手セイラーをスパーリングパートナーに呼んで葉山新港をベースにして充分な練習を積んで備えていた。

７月５日江の島ヨットハーバー解禁！！海外チームは前もって送り込んでいたコンテナーにやっと手を付けることが出来、ドアが全開できないほどの間隔でビッシリと並べられたコンテナーから降ろされたレース艇と RIB コーチボートでヨットハーバーが埋まった。

当初６月に予定されていた大会直前のレガッタは中止。しかも出艇は７月 15 日まで禁止という厳しいコロナ対策重視と海外から日本に入ってくるチームの滞在期間を出来るだけ制限するという準備体制であった。

５日に抽選となったレーザーは 14 日午前中女子、午後男子のチャーター艇引き渡し。翌日のセイリング解禁目指して艇のセッティングは通常のワールドとに較べて比較にならないほどピリピリと緊張の高いものだった。

７月 21&22 日 全艇無事に 計測終了、レース海面では江の島独特の波 風パターンへの刷り込み練習の仕上げだが、この夏は梅雨が長引きいつもの夏イクオール「シーブリーズ」 とは違うパターンがーーー 見受けられ各チーム苦戦していた。第Ｉレースの幕を開けると初日はイキナリ鎌倉湾＆七里が浜の丘越えからの２つの吹き出しパターン(秋冬バージョン)の出だしとなった。

レース内容はインターネット配信やバルクヘッドマガジン等ですでにご覧になっていると思いますのでここでは省き土居、南里両選手の手記、メジャラーとして参加の西野さん、ボランティアとして参加の三原さん、チャーター艇の準備、大会中のピットクルーとして縁の下を支えた PSJ チーム小林隊長のレポートをどうぞ！！

最後に告白

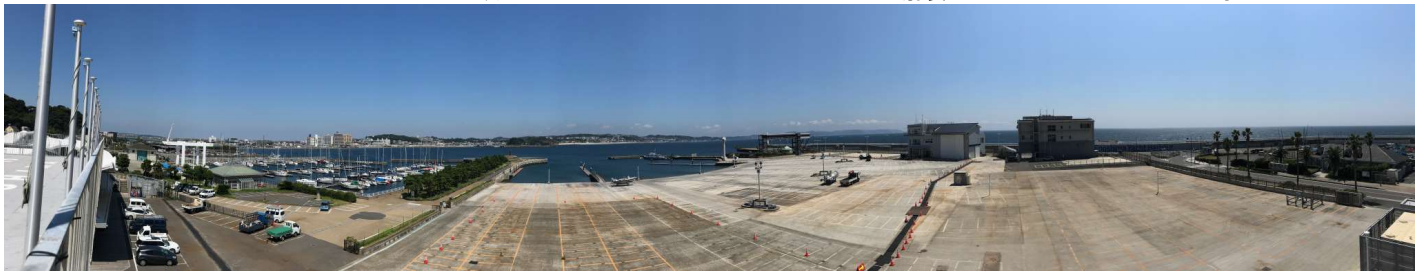
皆さんコロナ禍でのごり押しのオリンピックーーーー大反対の方もいらしたと思いますがーーーーIOC からのオリンピック放映権収入の配分を主な収入としている多くの国際競技団体(ワールドセイリングを含む 各スポーツの International Federation)にとっては今回のオリンピック開催は大救世主だったということも知っておいてください。

フォトレポートを含み 大谷たかを

Full of Coach boats !!! 特設のガソリンスタンドとメカニックも準備された

Medal race spare boat with PJS's Pit Crew team
Medal race boat pit at the back
スタート前にトラブルがあった艇が岸に戻ってくればすぐに差し替えられるように完全艤装してスタンバイ！！

Medal Race から上がると上位選手は即プレスインタビューへ、解装はコーチとマネージャーの仕事



Empty Enoshima as at 2021 Aug 31
すでにクルーザー関係は江の島に戻ってきている、ディンギー関係は9月に入ってからの戻り
(2年間にわたり2-8月は東京、千葉を含むハーバーや逗葉フリート等の近隣施設に移動を余儀なくされた)

オリンピックレポート
「最高の 10 年間！！」

10 年間の長い長いオリンピックキャンペーンが終わりました。

私は今回の東京オリンピックをセーリング人生最後の大会に位置付け、リオオリンピックが終わってから東京で金メダルを獲ることだけを目標に走ってきました。最後の１年間はコロナの影響で大会が延期になり、思うような活動もできず、本当に苦しい状況でしたが、オリンピックが開催されることが決まり、無事に東京オリンピックを迎えることができました。しかし、本番では自分の思うような走りができず、結果は 15 位。本当に不甲斐ない成績に終わってしまいました。

ロンドン、リオ、東京と３大会オリンピックを経験してわかったことがひとつだけあります。それは、オリンピックに対する想いが強すぎたということです。私は目標に対して妥協できない、努力を惜しまない、そんな性格です。それが本番では自分へのプレッシャーとなって表れ、いつもの自分を見失ってしまい最高のパフォーマンスを出すことができなくなります。今回のオリンピックを経験しこれまでも自分の弱点だったと感じていたメンタル、気持ちの弱さが結果となって表れてしまいました。

しかし大会を終えて感じることは、なにひとつ悔いがない、とても充実した 10 年間のオリンピックキャンペーンだったということです。この 10 年間、私は本当に恵まれていました。最高の環境、最高のコーチ、最高の仲間、たくさんの応援してくれる方々、家族、友達……、全ての方々の協力なくして今の私は居ません。感謝しかありません。本当にありがとうございました。

私のこれまでの活動が、日本のレーザー界にとって少しでも良い影響を与えることができていたらとても嬉しく思います。私はこれからしばらくセーリング界を離れ、新たな道に進もうと考えていますが、新しい環境が整い落ち着いたら、今度は今まで学んだレーザーの知識を違う形で還元できたらと思っています。

長い間、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

土居 愛実

金	DEN	Anne-Marie Rindom	78
銀	SWE	Josefin Olsson	81
銅	NED	Marit Bouwmeester	83
15	JPN	Manami Doi	130

左から Silver SWE、Gold DEN、Bronze NED
世界選手権やワールドカップ等で土居が何度も
表彰台で肩を並べた顔ぶれだ！！

大接戦のフリートをリードしてフィニッシュラインに向かう土居愛実

Junichi Hirai/BULKHEAD magazine JAPAN

３度目のキャンペーンにしてやっと掴み取った
オリンピックへの切符

東京オリンピックの代表に内定してからというものの、直前のオリンピック１年延期。この期間は目まぐるしく世界の情勢も変わり、思うように練習や遠征が出来ない日々が続きました。しかし、代表に内定してからも世界とのレベル差を感じていた私にとっては１年延期というのは準備する期間が延びた、とプラスに切り替えました。

主に日本での強化練習を重ね、迎えたオリンピック本番。
初日、２日目は緊張で気持ちが空回りしましたが、３日目以降は落ち着いてレースをすることができました。しかし、さすがのオリンピック。思うように前を走らせてもらえず、苦戦しました。
スタートで前に出ても、ほんの少しの差が少しずつ広がり、大きな差になる。上手い選手は少しずつ順位を上げてくる。そんな当たり前のことをすごく感じるレースでした。
全力で戦った結果がこの 30 位という結果、今の実力だと痛感しました。

それでも世界の選ばれたトップ選手だけが集まるオリンピックという舞台。レーザーワールドよりも圧倒的に少ないフリートで行うレベルの高いレースを楽しんでレースすることができました。こんな経験ができたのも、今まで沢山サポートしてくれた方々がいたからです。一緒に戦ってくれたことに感謝しています。

レーザーの代表として東京オリンピックに出場できて本当に幸せでした。沢山のご支援・ご声援、本当にありがとうございました！

南里　研二

金	AUS	Matt Wearn	53
銀	CRO	Tonci Stipanovic	82
銅	NOR	Hermann Tomasgaard	85
30	JPN	Kenji Nanri	219

左から Silver CRO、Gold AUS、Bronze NOR
AUS は3年連続 GOLD　2012 London Tom Slingsby、
2016 Rio Tom Burton、2020 Tokyo Matt Wearn
クロアチアのトンチはリオ大会に続きシルバーメダル

Junichi Hirai/BULKHEAD magazine JAPAN

三度目の挑戦で自力で五輪クオリファイ(トップ 35 か国)を獲得した南里
次のコースに合わせたセッティングを素早くこなしながら風上をマーク回航

TOKYO2020 メジャラーレポート

今回、TOKYO2020 に計測係として参加しましたので報告します。

計測のやり方としては、計測で合格になった艤装品に通し番号の付いたシールを貼り、そこに割印のようにメジャラーのサインをしていくという方法を取りました。シールを貼るのは、ハル、セール、トップマスト、ボトムマスト、ブーム、センターボード、ラダーヘッド、ラダーブレード、ティラー、ティラーエクステンションです。バテンはシールが貼れないので代わりにスタンプを捺しました。

ハルについては World Sailing のプラークが貼ってあること、セルフベイラーのフェアリングをしていないこと、センターボードケース内の側面にスペーサーを貼っていないこと、マストホールの底にスペーサーを入れているならその厚さを確認しました。電子コンパスを付けている場合は、認められた機種かどうかを確認し、機種名を記録しました。

セールは、レーザーのラベルとセールボタンが付いていれば OK。オリンピックではセールナンバーを貼らないのでそのチェックはありません。バテンは長さを測ります。

スパーは Laser Authorized Parts のステッカーに加え、曲がりと、全長やグースネックの位置、スリーブの位置などが規則内かどうかを測りました。

センターボード、ラダーについては、Laser Authorized Parts のステッカーを確認し、テンプレートを使って厚さと、ラダーは振り角も測りました。

ロープ類、ブロック類、ティラー、ティラーエクステンションは選手自身が持ち込みます。艤装のチェックは、ボトムマストとブームをセットしてロープ類を引き回した状態でおこないます。コントロールロープの本数、ターニングポイントの数、スプライスの箇所、ブロックのシーブの大きさ、マストの流れ止め、センターボードの流失防止ショックコード、といったところが見るポイントです。

他に、ライフジャケットが ISO 規格品かどうか、腕時計に GPS が付いていないかどうか(これは口頭で質問します)を確認しました。

レーザー/レーザーラジアルの計測は、ILCA チーフメジャラーで IM のアイリーンさん(SGP)、JLCA から北川(卓)さんと西野、テクニカルコミッティーの他クラス担当やボランティアの方々の応援を得て総勢８名ほどでおこないました。計測に与えられた時間は一艇あたり 10 分。レーザー/レーザーラジアル合わせて 80 杯として所要時間は 14 時間弱、２日間ほぼフルタイム労働でした。

計測が始まった時点から、セールや艤装品のボートパーク内への持ち込み/持ち出しには書面での許可が必要になります。それをチェックするため、ボートパーク内への人の出入りがなくなる 19 時ごろまで毎日交代で門番をしなければならず、計測が終わってもヒマにはなりませんでした。

海上計測はアイリーンさんと２人でメジャメントボートに乗り込み、私が運転手をしました。フィニッシュ直後の艇を捕まえて計測時に貼ったシールとサインを確認し、計測で合格した艤装品のみを使っていることを確認します。対象になる艇はレースごとに三艇。何位の艇を計測するかは、テクニカルコミッティーのチーフから指示が出ます。

艇を捕まえるにあたっては、フィニッシュ後の進路を予測するだけでなく、メディアボートに場所を譲らなければならない決まりだったので、どこで待ってどう捕まえるかはとても悩ましい問題でした。また、選手がコーチボートに横付けしてしまうと海上計測はできなくなります。コーチボートはフィニッシュ後の選手に早く水をを渡そうとするので、それのケアもしなければなりませんでした。水をコーチボートからメジャーメントボートで一旦受け取り、メジャーメントボートから選手に渡すことでコーチと選手の直接コンタクトを防いだり、選手に渡すための水をメジャメントボートにあらかじめ用意しておく、といった対応を取りました。

海上計測はフィニッシュ後だけですが、選手の出艇とほぼ同タイミングでメジャメントボートも出艇しました。スタート直前の艇のトラブルに対処するため、スタートラインの風下で PSJ のサポートボートが待機しているので、メジャメントボートもその近くにいて、艤装品の修理や交換が発生した場合はその場で確認し、口頭で許可を与えることができる体制を取りました(レース後に書面提出)。

オリンピック独特のやり方としてメダルレースがあります。レース前日の夕方、10 位までの選手は柵で囲まれたピットに艇を持ち込みます。持ち込んだ後は艇をさわることができません。レース当日、スタート前にピットで艤装します。艤装に与えられる時間は 20 分。あらためて計測し(このときに違反があればペナルティー)、そのまま出艇です。

ここでも、国名の入っていない艤装済みの艇がレーザー/レーザーラジアル一艇ずつ、PSJ によってスロープに用意され、スタート直前に艇にトラブルがあったとしても選手がすぐに戻って(メダルレースは岸壁の近くでおこなわれます)乗り換えできるようにしていました。どの選手も無事にレースできるよう、徹底したサポートには感銘を受けました。

感染対策としては、毎朝セキュリティーゲートで検温がありました。OCHA というアプリをスマホに入れ、毎日体調や体温を入力しました(入力を忘れるとポップアップで催促される)。テクニカルコミッティーのオフィスでは入室できる人数に制限がかけられ、PCR 検査は毎日。最初は唾液が出にくくて時間がかかりましたが、毎日やっているうちに短時間で出るようになりました。

TOKYO2020 のオペレーションの訓練は、2017 年の蒲郡ワールドカップから始まりました。私もそのときから毎年参加させてもらいましたが、2020 年はコロナで中止になり、オリンピック直前に予定されていた〝ワールドイズワン江の島セーリングカップ 2021〟も中止。2019 年の江の島ワールドカップ以来丸２年間のブランクの後、いきなり本番ということで緊張して臨みましたが、なんとか無事に終わってほっとしています。気がつけば 20 日間休みなし。

最後に、オリンピック開催に否定的な論調や報道があふれるなか、日々の状況変化に振り回されながらも開催を成功させようと、ひたすら自分の役目を全うしようとする多くの裏方の人たち。江の島の会場は、開催前のネガティブな風潮とは別世界の、ポジティブな空間であったことを報告しておきます。

西野隆文(メジャラー/芦屋フリート)

男子トップバッターの南里艇の計測 ：
計測フォームを手にするアイリーン チーフ メジャラーと西野メジャラー、その左ブルーユニフォームは北川アシスタント(スパー類担当)
右端赤ユニフォームはワールドセイリングのテクニカルチーフ Jaime Navarro、手前 JAPAN ユニフォームのの南里が心配そうに見つめる

TOKYO2020 ボランティア活動レポート

レーザーニュースをご覧の皆さん、こんにちは。　室蘭フリートの三原と申します。テレビが大半でしょうか。私はなんと、生で、ライブで、この目で見ることができました。

なぜ見ることができたかと言いますと、オリンピックボランティアのフィールドキャストとして、江ノ島会場に行っていたのです。今から約３年前にさかのぼりますが、人生の集大成、という思いでTOKYO2020 オリンピックボランティアを希望し、札幌での講習会参加、ワールドカップ江ノ島大会ボランティアの参加等を経て、やっとフィールドキャストとして決まりました。しかし、残念ながら、昨年から新型コロナウイルスの影響でオリンピックは１年間の延期が決定し、今年開催となってしいました。

ボランティア活動の個人的な希望としては、斜路周りでの、いわゆるビーチボーイ（オールドですが）を希望していましたが、届いたオファーは、会場入り口ゲートでの観客等の案内、誘導でした。

それでも、江ノ島会場でオリンピックの雰囲気は味わえると思い、すぐにオファーを承諾しましたが、その後、大会組織委員会は何を思ったのか、私が初めて耳にする、アクレディテーションチームへオファーをしてきたのです。

当初、アクレディテーションカードとは何者だ、というような感じで、訳が分からず、せっかくオファーを変更してきたのだから、何か意味はあるんだろう、という安易な気持ちでこのオファーを受けたのです。（特別な意味はなかったようです）

今を思えば、これが人生の曲がり角、だったのかもしれません。世間では新型コロナウイルスが猛威を振るい、各種イベント（ヨットレースもしかり）は軒並み中止や延期となり、オリンピックも、観客を入れる、入れないで２転３転し、残念ながら無観客で開催することが決まってしまいました。

その結果、最初にオファーが来た、会場入り口での案内、誘導のボランティア活動はすべてキャンセルされ、中には全く別のオファーが来た方もいたと聞きました。

その間、アクレディテーションチームのマネジャーから活動日のシフトが来たのですが、それを見てびっくりです。最初に来た活動日は、７月 12 日から８月５日までの 25 日間中、なんと９日間の活動日だったのです。なんと、飛び飛びで９日間の活動日です。

なんじゃこりゃ、まるで地元の人のシフトでしょ。途中で北海道に帰れというのかな、などとつい言葉に出てしまったのでした。

その後、組織委員会の江ノ島会場アクレディテーション担当マネジャーからメールが入ったので、さっそく私はマネジャー氏に、私は北海道からボランティアに参加すること、活動日数を増やしてもらいたいことを訴えました。

マネジャー氏は、私が北海道から参加することは知らなかったようで、「北海道から参加されて、活動日数を増やしてほしいとは頼もしいです」との返事があり、後日、活動日数が５日間増えたのでした。

ようやく、活動日も決まり、さて宿泊先と飛行機の予約です。当初の活動日は、７月 23 日から８月５日の間予定でしたが、７月 11 日発、８月５日帰着に変更となるため、予約を取り直し、結局、最初の１週間は藤沢市内、２週間目は鎌倉市大船、３週間目からは平塚市内の宿泊先を確保し予約完了することができました。飛行機の予約もキャンセル料を払って予約の取り直しです。前説が長すぎたかな。とりあえず続けます。

ところで皆さんは「アクレディテーションカード」をご存じでしょうか？私は、今回たずさわって初めて知りましたが、このカードが無いと会場の中には入れません。

アクレディテーションカードは、会場内へ入るための身分証明書です。カードの中に個人データが入力されたマイクロチップが入っています。会場の入口ゲートに設置されている認証機に顔とカードをかざし、データが一致すると会場内に入ることができます。テレビのオリンピック中継で、選手やコーチが首からぶら下げているカードを見たことがあると思いますが、そのカードが「アクレディテーションカード」なのです。

いくら有名で、皆さんも顔を知っている選手でも、そのカードが無いと会場には入れてくれません。カードを宿泊先に忘れた場合は、宿泊先まで取りに戻らなければなりません。それだけ大事なカードなのです。

このカードを発行するのが、私の活動場所である、ベニュー・アクレディテーション・オフィス（Venue Accreditation Office　通称 VAO、バオ）です。このオフィスはどの会場にもあり、選手村にもあります。そして、このカードに入っている情報は、この人がどの会場に、どこまで入ることができるか、選手かコーチか、関係者なのか等のデータがすべて入っており、決められた会場、場所以外に入ることはできません。

活動時の状況ですが、アクレディテーションカードとは何か理解できておらず、活動初日はまだ大会前なのでそんなに忙しくもなく、指導者から教えてもらえば何とかなるだろうと、高を括って行ったのですが、その結果は、レクチャーなしの即本番となったのでした。

７月 12 日月曜日、活動初日。
午前８時 15 分から活動なので、７時 40 分頃に会場へ到着し、ボランティア受付でチェックインをしたところ、ボランティア活動の受付第１号と言われ、これは幸先がいいなと思いつつオフィスへ行くと、マネジャー氏がすでにきており、自己紹介、さらに当日一緒に活動するボランティア４名が集合し、マネジャー氏からパソコンを操作してアクレディテーションカード作成のレクチャーを受けようとした、まさにその時でした。

外国人選手、コーチ 10 数名が一度に VAO に押しかけ、オフィス内は外国人であふれてしまったのです。マネジャー氏が確認したところ、選手村にある VAO でアクレディテーションカードを作らずに来たとのことで、とりあえず持参しているカードをチェックしたところ、そのほとんどがデータエラーでカードを作成することができません。マネジャー氏が大会組織委員会に確認したところ、データの確認には２日間かかることが判明したので、２日後に再度来るよう告げました。

それまでの間、VAO に押しかけて来た選手やコーチ 10 数名は、８畳くらいのオフィスの床に座り込み、なぜカードを作成できないのか、いつ作れるのか等の質問をし、まるで外国人に VAO が占拠されたような情景でした。

この時私たちボランティアは、選手達が持ってきた紙のカードのチェック作業に追われることになりましたが、この作業は、レクチャーなしで始まり、最初はパソコン画面のどこをクリックするかわからず、マネジャー氏から聞きながらの作業で、汗をふきふき、あたふたしながらなれない作業を行ったのでした。

最初からこんな調子で、カード作成要領をしっかり理解できないまま、レクチャーなし、練習なしの即本番をなんとか切り抜けたのです。

そして、その２日後のことです。
初日にマネジャー氏が外国人選手達に伝えた「２日後に再度来てください」の日に私は活動日だったので覚悟して行ったところ、案の定外国人選手やコーチがわんさと押し寄せ、VAO 内は修羅場とまではいきませんが、朝から夕方までひっきりなしに現れる人たちにアクレディテーションカードを作成しました。この時思ったのは、最初データがエラーでがっかりして帰った人達が、カードを受け取り、にこやかに別れの挨拶を交わして会場内に入っていく姿を見て、この活動もまんざらではないな、と思った次第です。

アクレディテーションカード作成の流れを簡単に説明します。選手やコーチ、関係者は、事前に個人データを大会組織委員会に登録をします。それに基づいて、顔写真付きの紙の個人カードを持ってくるので、パソコンでデータ確認を行い、データを入力したマイクロチップを入れてカードに挟み、その紙をラミネートに入れてラミネーターで接着すると、アクレディテーションカードとなります。

今考えてみると、ヨットレースは自分でも参加しているので雰囲気などはわかりますが、アクレディテーションカード作成というものは分かりません。ここで初めて知ったようなものですから、これは普通のボランティアでは体験できない、すごい経験をしたのではないか、という気持ちになったのでした。

今回、江ノ島会場の VAO でボランティア活動をした方は、全部で 11 名ほどでした。毎日、４から５名がオフィスに詰めます。毎回違う方と活動するのですが、同じ顔ぶれになることもありました。私以外はすべて神奈川県内の方で、ヨット経験者は２名ほど。自転車や原チャリで通っている方、電車で１時間かかる方や女子の医学生は講義が入ったため１日でもいいからボランティアをしたいとのことで１日だけ活動し、終了後、大学に戻った方もいました。中には会場前の江ノ島海岸でサップをやっている方もおり、地元の各種情報交換も含め、ボランティア同士打ち解けて会話も弾み、楽しい時間を過ごすことができました。

また、VAO のボランティア仲間でラインを繋げ、会場内をスマホカメラで撮りまくり、写真の交換等も行い、活動日数が増えるたびに、アクレディテーションカード作成方法の新たな発見があったり、また、他のボランティアが考えた作業方法を共有したり、と毎日が新鮮な気分で活動することもできました。

ボランティア活動中のコロナ対策については、手指消毒はもちろん、常時マスクの着用、毎週１回の PCR 検査を３回行いました。PCR 検査は、いずれも陰性で問題はありませんでした。

PCR 検査容器に添付したシールの残り

レース観戦ですが、お昼の休憩時間を利用して、防波堤に上り見ることはできました。その中で、レーザークラスのレースで、スタート直前に、ほぼ全艇がなぜかスタートラインを超えたのを目撃したのです。案の定ゼネリコです。オリンピックでゼネリコを見てしまいましたよ。後で聞いた話では、潮流が速かったので押し出された、とのことでした。

また、49erFX のメダルレース、フィニッシュ直後、ブラジルチームが金メダルを確定したことから防波堤にいる応援団の元までウィニングランを行ったのは良いのですが、応援団の一人が、うれしさのあまり、地元の方なら危険なので絶対やらないであろう、防波堤から海へのダイブを行い、艇の選手もそれに合わせたように艇からダイブしてしまい、選手不在の艇は沈。防波堤の直近での出来事だったので、ハラハラしましたが、最後まで見る時間がなく、後で聞いたところでは、艇の沈起こしをしたところ、デスマストをしていたそうです。

遠い海面でのレースは、やはり望遠鏡が必要でしたが、直近の海面で行われたレースは、セールに貼られた各国の国旗や TOKYO2020 の文字がはっきり見え、思わず「これがオリンピックのレース会場なんだ。私は、生でオリンピックのヨットレースを見てるんだ。」とワクワク感と感動を覚え、ヨットをやっててよかった、という思いがあふれたのです。

江ノ島会場内には、各国がレース機材を運んできたコンテナが並び、そのコンテナには国旗がはためき、その前では艇の整備やミーティング、休憩等をしている風景を目にしましたが、そのような風景を見るだけでも、自分は今オリンピック会場にいるんだ、とワクワクで、このような思いは、二度と味わうことができないでしょう。

この味わった思いを胸に、
さらにヨットを楽しまねば。
死ぬまで頑張らなきゃ。
ヨットは楽しい。
と誓いました。

今回の TOKYOU2020 オリンピックに対し、各方面から色々な御意見はありますが、ヨットに限らず、「スポーツは素晴らしい。人に感動を与える。明日への活力を与える。」と思います。

これからも、今回経験したことを、現在指導しているジュニア、社会人ヨット教室の受講生やユース、これから出会いがある方たちに機会があるたびに話をして、スポーツのすばらしさ、ヨットの楽しさを伝えていきたいと思います。

それから、このような機会に巡り合った私に、ご理解と長期間にわたる休暇を与えていただいた職場の皆さんに感謝いたします。
長文の個人の話にお付き合いいただき、レーザーニュース愛読者の皆さんにも感謝いたします。ありがとうございました。

室蘭フリートキャプテン　三原隆彰

【Tokyo2020 Laser PSJ チームレポート】

Laser 級（男子）は 1996 年アトランタ大会からオリンピック種目に採用され、Laser Radial 級（女子）は 2008 年北京オリンピックから採用され、Laser として７回目にあたる今回の東京オリンピック。

オリンピックへの Laser 級のチャーター業務は、パフォーマンスセイルクラフトジャパン社（PSJ）にとっては、勿論初めての業務となった。

今回の東京オリンピックでのチャーター艇は、Laser 級男子は 35 隻、Laser Radial 級女子は 44 隻、スペアボートにそれぞれ 10 隻ずつで合計 99 隻を、PSJ は当初の開催予定だった 2020 年７月に向けて生産し準備してきました。

コロナ感染の影響で開催が丸一年の延期になり、これらの艇の保管が心配されたが、組織委員会と交渉し江の島ヨットハーバー内の仮設のプレハブ倉庫を確保することができ、大会本番までベストな状態で保管することが可能となった。

五輪開催が丸1年延期となり、
プレハブ倉庫でオリンピックを待つ新艇の Laser

これらの Laser は今までに PSJ が供給してきた世界選手権以上に、細部にわたりチェックしながら建造された均一なハル、フォイルのベンドやシェイプのチェックと修正、スパーのベンドテストや重量チェックが入念に行われ、いよいよ Tokyo2020 を迎えることとなった。

セーリング会場のソフトオープン前になる６月 21 日、プレハブに保管されビニールパックに入っていた 99 隻の Laser は、長い眠りからようやく覚め計測テントに大移動され、PSJ チームはチャーター艇の抽選準備と最終調整作業を開始しました。

細かいリペア作業やスペアパーツ、ロープなどの保管スペースとして、２本の 40ft コンテナが PSJ チームの基地となり、また、五輪中の２か月間の休業を余儀なくされた江の島ヨットハーバー内の直営店舗「1964」の女性スタッフもコンテナに常駐しながらチャーター艇の準備に加わり、PSJ チームは万全の準備態勢が整った。

７月５日、チャーター艇の抽選日、計測テント内に並んだ Laser を目の前にしてワールドセーリングによってオンライン形式で公平な抽選が始まりました。

直後から、グレープフルーツ社（英国）によってセール、ハル、センターボードに東京五輪ロゴとナショナルレターのブランディング（ステッカー貼り）、PSJ チームは選手のリクエストに応じてメインシートのカムクリートやハイキングストラップの取り付け作業を開始。

７月 14 日、チャーター艇引き渡し日、「全選手に対してなるべく平等な時間差でチャーター艇を供給する」というワールドセーリングからの要望により PSJ スタッフ全員に Laser 仲間、PSJ 元バイトメンバーを加え３チーム体制に編成し、１選手につき 15 分以内というタイムリミットを設けられた。

09:00 から一斉に引き渡しが開始。開催国である日本が最初に引き渡され次回の五輪開催国のフランスが２番目、以降は抽選順で次々と選手に何のトラブルも無く引き渡され、PSJ チームは大きなミッションを無事に終えた。

Team PSJ には 1964 スタッフの他に、Laser 仲間の阪間俊文、五十嵐厚志や元 PSJ アルバイトスタッフの鈴木正一郎、鈴木祥郎、脇永涼が加わりチャーター艇の引き渡しに1隻あたり 15 分のタイムリミットの条件下、とてもスムースに引き渡された

計測までに１週間で、各国の選手はボートのレーキやフォイルのアライメントチェック、セーリングによるフィーリングチェックなどをコーチと共に行っていました。
７月 21～22 日の２日間で計測が行われ、OMEGA 社によるトラッキングシステム用の GPS とカメラがバウデッキにそれぞれセットされ準備万端！
あとはレース本番を待つのみ。PSJ チームはようやくここでひと安心…。

計測の順番は開催国の日本選手が一番目！チーフメジャラーの Eileen Loo 氏と西野氏から細かくチェックを受ける土居愛実選手

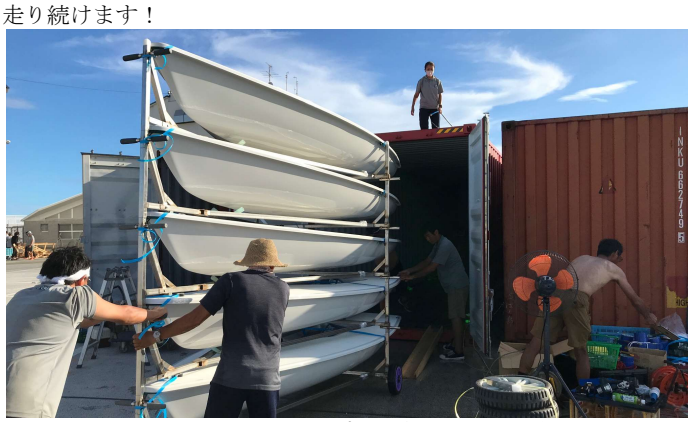
実際のレースは 7/25 から始まり全 10 レース、TOP10 は８/１のメダルレースの１レース。（成績やレースレポートは別途参照）
レース期間中の PSJ チームは、陸上でのリペアサービスだけでなく、ハル以外の全ての予備パーツを載せたギアボートに乗って毎レース海上に出て、万が一、海上でのパーツ、スパー、フォイルなどの交換やリペアサービスに備えます。
Laser を貸し出す際にそれぞれの選手に声をかけたことを思い出しながら、五輪というひのき舞台でセーリングする選手の姿を海上で見届けられるのは、ビルダーとしてもセイラーとしても今までにない特別な思いでした。

レース前に吹き始めのシーブリーズで走り合わせをする、Matt Wearn(AUS)、Robert Scheidt(BRA)、Ha Jeemin(KOR)の3艇

**誰もが知っている Laser 界のレジェンド、Robert Scheidt(BRA)
1996 年アトランタ五輪(金)、2000 年シドニー五輪(銀)、2004 年アテネ五輪(金)、2016 年リオ五輪(4位)、2020 年東京五輪(8位)
Laser ワールドチャンピオン9回、ワールドユースチャンピオン1回
※筆者とは、1990 年、1991 年ワールドユース同期となる 48 歳同士の旧友**

笑顔でセールにサインをする東京五輪金メダリストの Matt Wearn(AUS)と3回連続金メダリストを育てたコーチの Michael

選手と PSJ チームにとっては通常のオリンピックよりも一年長い準備期間ではあったが、僅か８日間のレースで勝敗が決まり、始まってみればあっという間にオリンピックが終わってしまった印象でした。オリンピック期間中、相模湾の夏らしいシーブリーズは少なめだったが、大きな台風が来ることもなかったおかげで大きなリペア作業はありませんでした。
PSJ チームとしては、この 19 日間での大きなクレームもなく 79 名の選手に平等かつ完璧に供給でき、成功した五輪大会として終えることができとても嬉しく思っています。
また、World Sailing からは、「過去の五輪やワールドと比べてクレームや修理が極めて少なくスムースな供給ができていた素晴らしいチームだった」と評価されました。
このオリンピックという貴重な経験を活かし、今後の Laser 界の発展に貢献できるよう、PSJ チーム一同、これからもいい風を掴み走り続けます！



今回使用した全てのオリンピックボートは、返却後すぐにリコンディションされて、そのまま 40ft コンテナに積み込まれ、2021 年 11-12 月にオマーンで開催されるラジアルワールドと WS ユースワールドにに輸送された

パフォーマンスセイルクラフトジャパン・小林正季

協会広報

2022年 ILCA 7(Standard) /ILCA 6(Radial) 世界選手権等代表選手選考方針

2021年9月11日公示
日本レーザークラス協会 強化委員会

1．概要

2022年における ILCA 7(Standard)/ILCA 6(Radial)クラス（ユースを除く）の世界選手権等代表選考方針を決定しました。

選考対象大会
① 2022 ILCA 7(Standard) Men's World Championship 2022/5/21-28 MEXICO
② 2022 ILCA Under-21 World Championships 2022/8/13-20 PORTUGAL
③ 2022 Asian Games (ILCA7 Men's/ILCA6 Women's) 2022/9/10-25 CHINA
④ 2022 ILCA 6(Radial) Women's World Championship 2022/9/22-30 CHINA
⑤ 2022 ILCA 6(Radial) Men's World Championship 2022/9/22-30 CHINA

2021年からの主な変更点は以下の通りです。
① ILCA 7(Standard)及び ILCA 6(Radial)の世界選手権選考について、2021年 All Japan Championships の開催時期(11月もしくは12月)により指定大会から除外（2021年世界選手権へ参加する選手が遠征及び隔離期間に入り、当該大会に参加できない可能性が高いため）。2022年 ILCA 6(Radial)世界選手権については開催時期が9月下旬であることから、2022年6月開催予定の関東選手権を指定大会として追加。
② 指定大会が未開催や不成立もしくは選考基準を満たさない場合､代表選手決定にクラス別ランキングを採用しない(5．その他（1）を参照）。（新型コロナウィルス感染拡大によりランキング対象大会がほとんど開催できていないこと及び、クラス別ランキングに比重の大きい2021年 All Japan Championships に2021年 ILCA 7/ILCA 6 世界選手権に参加する代表選手が参加できない可能性が高く、クラス別ランキングでの優先順位付けが公平ではないと判断した為)
③ 2022年アジア大会の選考を追記

またユース種目（ILCA 6(Radial)クラスユース、ILCA 4(4．7)クラスユース）については、昨年同様「2022年 ILCA 6(Radial)ユース/ILCA 4(4．7)ユース世界選手権等代表選手選考方針」として別途公示されます。

（1）参加枠の手続き方法（ILCA 6(Radial)クラスユース、ILCA 4(4．7)クラスユースを除く）

A．2022年は ILCA 主催の世界選手権となるため、通常の手続き(ILCA のサイトからアプリケーション及びエントリーを行う)となります。世界選手権に参加を希望する選手は、アプリケーション締切日(NOR に記載)までに各自にて ILCA サイトからアプリケーションを行うと共に、クラス協会強化委員会宛（5.その他（3）に記載）にその旨通知します。

B．アプリケーション締切後、強化委員会にて選考方針に基づき各選手の参加優先順位を ILCA に報告します。追加枠を含め最終的に ILCA に認められた数の選手が世界選手権に参加出来ます。クラス協会では、各クラス共に日本に割り当てられる通常の枠数に加え、割当枠数に満たない国が出た場合の追加枠の取得も積極的に行います。

C．ILCA にて最終的に日本に割り当てられた数の選手に対し、代表権が付与されエントリー可能となります。代表となった選手は速やかにエントリー手続きを行ってください。

（2）クラス別日本ランキングシステム

All Japan Championships 等単一大会へのクオリファイ枠に加え「クラス別日本ランキングシステム」を導入し、ランキングに基づいて世界選手権へのクオリファイを割り当てます。
ランキング対象大会には主要大会はもちろん地域選手権も多く盛り込まれており、地域選手権の活性化が期待できるとともに、クオリファイ大会に参加できなくとも他の大会に数多く参加することでランキング上位を目指せば世界選手権への道が開かれることとなります。

2．代表選考

2－1．ILCA 7(Standard)クラス男子代表選考

世界選手権の代表選手を下記要領で選考する。ILCA から付与された枠の数に基づき日本選手について、下記の通りクラス協会にて参加枠の優先順位付けを行う。

① 2022年ナショナルチーム （注1）
：最大1枠
② 2022年 Laser ミッドウィンターレガッタ
（2022年2月 唐津）（注2）
：日本レーザークラス協会に付与された枠数から上記①の割当数を減じた数 （注3）

（注1）2022 年ナショナルチーム選考方法詳細については、JSAF オリンピック強化委員発表を参照のこと。
JSAF オリンピック強化委員会:http://jsaf-osc.jp/
（注2）当該大会が不成立もしくは選考基準を満たさなかった場合については、5．その他（1）を参照のこと。
（注3）4．全クラス 共通事項（3）を参照のこと

2－2．ILCA 6(Radial)クラス女子代表選考

世界選手権の代表選手を下記要領で選考する。ILCA から付与された枠の数に基づき日本選手について、下記の通りクラス協会にて参加枠の優先順位付けを行う。

① 2022年ナショナルチーム （注1）
：最大1枠
② 2022年 Laser ミッドウィンターレガッタ
（2022年2月 唐津） （注2）
：日本レーザークラス協会に付与された枠数の60%（注4）
③ 2022年 Laser 関東選手権
（2022年6月 江ノ島）（注3）
：日本レーザークラス協会に付与された枠数から上記①～②の割当て数を減じた数（注4）

（注1）2022 年ナショナルチーム選考方法詳細については、JSAF オリンピック強化委員発表を参照のこと。
JSAF オリンピック強化委員会:http://jsaf-osc.jp/
（注2）当該大会が不成立もしくは選考基準を満たさなかった場合、2022年6月開催予定の Laser 関東選手権を代替大会とする。
（注3）当該大会が不成立もしくは選考基準を満たさなかった場合については、5．その他（1）を参照のこと
（注4）4．全クラス共通事項（3）を参照のこと

2－3．U21（ILCA 7(Standard)男子・ILCA 6(Radial)女子）代表選考

世界選手権の代表選手を下記要領で選考する。ILCA から付与された枠の数に基づき日本選手について、下記の通りクラス協会にて参加枠の優先順位付けを行う。

① 2022年 Laser ミッドウィンターレガッタ
（2022年2月 唐津） （注1）
：日本レーザークラス協会に付与された枠数
（注2）

（注１）当該大会が不成立もしくは選考基準を満たさなかった場合については、５．その他（１）を参照のこと
（注２）４．全クラス 共通事項（３）を参照のこと

２－４．ILCA 6(Radial)クラス男子代表選考

世界選手権の代表選手を下記要領で選考する。ILCA から付与された枠の数に基づき日本選手について、下記の通りクラス協会にて参加枠の優先順位付けを行う。

① 2021-2022 年レーザークラス
クラス別日本ランキング（注１）
：日本レーザークラス協会に付与された枠数

（注１）ILCA が大会毎に設定するアプリケーション締切日時点での最新のランキングを参照する。
３．（６）も併せて参照すること。

２－５．2022 年アジア大会（ILCA 7(Standard)男子・ILCA 6(Radial)女子）代表選考

選考方法詳細については、JSAF オリンピック強化委員会発表のレース公示を参照のこと。
JSAF オリンピック強化委員会： http://jsaf-osc.jp/

３．クラス別日本ランキングシステム

ISAF Ranking System(Fleet Racing)に概ね準拠した、クラス別の日本ランキングを導入する。

（１）ランキング開始時期

2016 年 Laser All Japan Championships より開始し、月末時点にて過去１年間以内に完了した大会が有効

（２）ランキング対象大会

別途公示される「2021-2022 年レーザー・ランキング/クオリファイ対象大会一覧」に記載。

（３）ランキング対象クラス

ILCA 7(Standard)／ILCA 6(Radial)／ILCA 4(４．７)
（注）クラス毎の総合ランキングにおいては、年齢及び性別の区別は行わない

（４）ランキングポイント計算方法

ランキングポイント = E(N-P+1)/N
数式の説明:
E = Event Rank (200, 100, 50)
JLCA 大会グレード 1: 200 点
JLCA 大会グレード 2: 100 点
JLCA 大会グレード 3: 50 点
N = 対象大会のエントリー数(Number of Entries)
P = 対象大会における総合順位(Position in regatta)

（５）ランキングポイント付与対象

クラス協会に年間登録しており、ランキング対象大会において参加艇数の上位 70%以内(小数点以下は四捨五入)の成績を収めた選手に対し上記ランキングポイントを付与する。

（６）ランキングの決定

選手派遣事案の発生が予測された場合、または発生した場合、毎月の月末時点を起算日とした過去１年間のランキング対象大会におけるベスト５大会のランキングポイントを加算し、トータルポイントの多い順にランキングを決定する。
例：アプリケーション締切日が７月 20 日の場合、６月末時点でのランキングが対象となる。

(参考)ISAF Ranking System (Fleet Racing)
- Method of Calculation -
http://www.sailing.org/rankings/fleet/method_of_calculation.php

４．全クラス 共通事項

（１）参加艇数について

大会会場に来なかった選手もしくは全レース DNC となった艇については、参加艇数としてカウントしない。

（２）選考大会成立レース数

指定大会において、成立レース数が３レース未満の大会は選考対象としない。
ただし、クラス別日本ランキングにおいて、成立したレガッタについては実施レース数によらずカウント対象とする。

（３）指定大会における選考資格者がその資格を辞退した場合について

選考された大会の最終成績順に下位選手へ繰り下げる。それぞれの繰り下げについては当該大会の参加艇数の上位 30%以内(小数点以下は四捨五入)までとする。それでも対象者がいない場合は、クラス別ランキングから選定する。

（４）選考資格者が複数の選考審査項目において獲得する権利を有する場合

指定大会における権利獲得を優先する。指定大会が複数ある場合は大会番号の若い順から選考する。また、ナショナルチーム選手が指定大会で権利獲得した場合はその指定大会の枠を前項４．（３）に基づき下位選手へ繰り下げる。

（５）選考委員会について

選考委員会の構成はレーザークラス協会強化委員長、強化副委員長、強化委員及び強化委員会依頼のコーチで構成される。

（６）世界選手権等出場枠の配分について

①小数点以下については四捨五入で算定する。
②ILCA からの参加枠付与が減少した場合、別途公示される「2021-2022 年レーザー・ランキング/クオリファイ対象大会一覧」にある大会番号の若い順から選考枠を付与する。

（７）タイの解き方

選考大会総合成績及びランキングにおいてタイが発生した場合は、別途公示される「2021-2022 年レーザー・ランキング/クオリファイ対象大会一覧」にある大会番号の若い順の成績からタイを解く。

（８）レーザークラス協会会員登録について

各選考大会に参加する選手については、レーザークラス協会への会員登録を必須とする。

５．その他

（１）国際大会派遣等について

当選考方針に記載のない国際大会へ急遽派遣が決定した場合や新型コロナウィルス感染状況等により選考大会が実施できない場合、もしくは選考大会不成立等により代表選手を決定できない場合は、当該大会へアプリケーション（もしくは ILCA 管轄外の大会についてはクラス協会に参加意思を通知）を実施した選手のうち、過去の戦績や活動実績等から４．全クラス共通事項（５）において構成される選考委員会にて優先順位を決定し、JSAF オリンピック強化委員会へ推薦する。

（２）本選考方針及び最新ランキング等の更新情報

日本レーザークラス協会の Web サイトに随時掲載される。
日本レーザークラス協会： http://www.laserjapan.org/

（３）本件についての問合せおよび通知先

日本レーザークラス協会強化委員会あてメールもしくは FAX にて問合せ
日本レーザークラス協会強化委員長　佐々木共之
電子メールアドレス:ilcajpn-kyouka@cityfujisawa.ne.jp
FAX　　：０４６７－７６－１０５２

(参考) 2022年レーザークラス世界選手権等一覧
(2021年９月現在)

https://sailing.laserinternational.org/public/site/event-list 参照

2022 Asian Games
Saturday 10 September 2022 - Sunday 25 September 2022
CHINA, Hangzhou
http://www.asiansailing.org/event-list/?event_id1=3217

2022 ILCA 7 Men's World Championship
Saturday 21 May 2022 - Saturday 28 May 2022
MEXICO, Nuevo Vallarta

2022 ILCA 7 Masters World Championship
Monday 30 May 2022 - Tuesday 7 June 2022
MEXICO, Nuevo Vallarta

2022 ILCA 6 Masters World Championship
Thursday 9 June 2022 - Friday 17 June 2022
MEXICO, Nuevo Vallarta

2022 ILCA 6 Youth World Championships
Saturday 23 July 2022 - Saturday 30 July 2022
USA, Texas

2022 ILCA 4 Youth World Championships
Saturday 13 August 2022 - Saturday 20 August 2022
PORTUGAL, Vilamoura

2022 ILCA Under-21 World Championships
Sunday 21 August 2022 - Sunday 28 August 2022
PORTUGAL, Vilamoura

2022 ILCA 6 Women's World Championship
Thursday 22 September 2022 - Friday 30 September 2022
China, Qingdao

2022 ILCA 6 Men's World Championship
Thursday 22 September 2022 - Friday 30 September 2022
China, Qingdao

2022年ILCA 6(Radial)ユース/ILCA 4(4.7) ユース世界選手権等代表選手選考方針

2021年９月11日公示
日本レーザークラス協会 強化委員会

１．概要

2022年におけるILCA 6(Radial)ユース/ILCA 4(４．７)ユースの世界選手権等代表選考方針を決定しました。
選考対象大会
① 2022 ILCA 6 (Radial) Youth World Championships 7/23-30 USA
② 2022 ILCA 4 (４．７) Youth World Championships 8/13-20 PORTUGAL
③ 2022 Asian Games (ILCA 4(４．７)) 2022/9/10-25 CHINA
④ 2022 Youth Sailing World Championship (開催時期及び開催地未定)

2021年からの主な変更点は以下の通りです。
（１）ランキング対象大会のグレード見直し
(大会グレード１の基礎点を100→75へ変更)
（２）ILCA 4(４．７)ユースの補助対象選手の制限事項を追加
(2-1 (８))
（３）2022年アジア大会(ILCA 4(４．７))の選考を追加
（４）2022年１月の冬期海外遠征の中止（ただし2023年１月の冬期海外遠征については再開することをJSAFオリンピック強化委員会にて検討中。派遣することが決定された場合、ILCA 4(４．７)クラスユースの選考については2022年８月～10月にて選考大会を開催する予定)

２．ユース代表選考

２－１．ILCA６(Radial)ユース世界選手権（男女）及びILCA 4（４．７)ユース世界選手権（男女）

代表選手を下記要領で選考する。
下記（３）の大会及び（４）～（７）におけるILCA 6(Radial)／ILCA 4(４．７)ユース選考ランキング上位者から世界選手権代表選手を決定する。世界選手権代表選手はJSAFオリンピック強化委員会にJSAF補助対象選手として推薦される。(ILCA 4(４．７)ユースについては、２-１（８）を参照のこと)

（１）ILCA 6(Radial)ユースおよびILCA 4(４．７)ユース世界選手権出場枠数
①ILCA 6(Radial)ユース　男子４枠／女子２枠
②ILCA 4(４．７)ユース　男子３枠／女子３枠
＊枠数の決定：ILCAより配分され日本レーザークラス協会強化委員会が決定した枠数とする。
＊枠数の変更：JSAF補助対象選手数が代表枠数を下回った場合、もしくはランキング上位選手の男女比率を鑑み、日本レーザークラス協会強化委員会にて代表枠数を変更する場合がある。

（２）JSAF補助対象選手数 / 補助内容
JSAFオリンピック強化委員会が決定し公示
＊ILCA 6(Radial)ユース／ILCA 4(４．７)ユースにおいては補助内容が異なる場合がある。

（３）代表候補選手選考大会
①ILCA 6(Radial)ユース：
2022年JOCジュニアオリンピックカップ
上位者１名 (男女区別なし) (５月 和歌山予定)
②ILCA 4(４．７)ユース：
2022年ILCA 4(４．７)ユース世界選手権最終選考会
上位者１名 (男女区別なし) (５月 津)

（４）ILCA 6(Radial)ユース／ILCA 4(４．７)ユース選考ランキング
下記大会で獲得したランキングポイントの合計を使用する。

●ILCA 6(Radial)ユース：
①2021年 Laser All Japan Championships
(11月 光) (注１)
②2021年 クリスマスレガッタ
(12月 江ノ島)
③2022年 ミッドウィンター選手権
(２月 唐 津)
④2022年 YMFSセーリング・チャレンジカップ
(３月 浜名湖)
⑤2022年 JOCジュニアオリンピックカップ
(５月 和歌山予定)

●ICLA 4(4.7)ユース：
①2021年 Laser All Japan Championships
(11月 光) (注１)
②2021年 クリスマスレガッタ
(12月 江ノ島)
③2022年 ミッドウィンター選手権
(２月 唐 津)
④2022年 YMFSセーリング・チャレンジカップ
(３月 浜名湖)
⑤2022年ILCA 4(４．７)ユース世界選手権最終選考会
(５月 津)

(注１)新型コロナウィルスの感染状況により 2021 年 12 月に延期となる可能性あり

（5）ランキングポイント

クラス別ランキングシステムと同様の計算方式に基づくポイントを付与する。ただし大会グレードについては、添付 1「ユース選考ランキング対象大会一覧」を参照のこと。

ランキングポイント = E(N-P+1)/N

数式の説明:

E = Event Rank (75, 50)

JLCA ユース大会グレード 1: 75 点

JLCA ユース大会グレード 2: 50 点

N = 対象大会のエントリー数(Number of Entries)

P = 対象大会における総合順位(Position in regatta)

（6）ランキングポイント付与対象

クラス協会に年間登録しており、ランキング対象大会において参加艇数の上位 70%以内(小数点以下は四捨五入)の成績を収めた選手に対し上記ランキングポイントを付与する。

上位 70%に入らなかった選手には参加ポイントとして１点を付与する。４大会以上に出場した場合はベスト３大会のポイントの合計を使用する。

（7）身体能力測定ポイントの加算について

身体能力測定を実施（各クラスの最終選考大会の初日もしくは前日を予定）し、添付 2「身体能力測定得点表」に基づき合計得点（最大 15 点）をランキングポイントとして付与する。実施要領については、別途公示される「2022 年度身体能力測定実施要領」を参照のこと。

（8）ILCA 4(４．7)ユースの補助対象について

ILCA 4(４．7)ユースはステップアップクラスとの位置付けから、2005 年１月１日～４月１日生まれの選手に対しては派遣大会参加の権利は付与されるものの、JSAF 補助対象とならない可能性がある。詳細については JSAF オリンピック強化委員会 HP を参照のこと。

JSAF オリンピック強化委員会： http://jsaf-osc.jp/

２－２．2022 年 ユース・セーリング・ワールド (ILCA 6(Radial)ユース(男女))

代表選手を下記要領で選考する。

２-１（４）～（７）における ILCA 6(Radial)ユース選考ランキング上位者からユース・セーリング・ワールド代表選手を決定する。ただし、JSAF オリンピック強化委員会にて選考期日が指定された場合、その時点におけるユース選考ランキング上位者にて代表選手を決定する。

（1）選考方式

①ILCA 6(Radial)ユース選考ランキング

（2）代表枠数

①ILCA 6(Radial)ユース　男子１枠／女子１枠

選考方法詳細については、JSAF オリンピック強化委員会発表のレース公示を参照のこと。

JSAF オリンピック強化委員会：http://jsaf-osc.jp/

２－３．2022 年アジア大会 (ILCA 4(４．7)ユース(男女))

ILCA 4(４．7)は 2022 年アジア大会における採用種目であるが、2021 年９月現在、日本からの派遣対象種目とはなっていない。しかしながら今後派遣対象種目に採用される可能性もあることから、選考方針について以下に記載する。

ILCA 4(４．7)クラスが日本からの派遣対象種目となった場合、代表選手を下記要領で選考する。

２-１（４）～（７）における ILCA 4(４．7)ユース選考ランキング上位者からアジア大会代表選手を決定する。ただし、JSAF オリンピック強化委員会にて選考期日が指定された場合、その時点におけるユース選考ランキング上位者にて代表選手を決定する。

（1）選考方式

①ILCA 4(４．7)ユース選考ランキング

（2）代表枠数

①ILCA 4(４．7)ユース　男子１枠／女子１枠 (注１)

(注１) 2022 年アジア大会における当該種目の参加条件及び JSAF オリンピック強化委員会における派遣方針により、対象年齢が ILCA 4(４．7)クラス世界選手権参加資格とは異なる可能性がある。

アジア大会派遣種目、参加資格詳細については、JSAF オリンピック強化委員会 HP を参照のこと。

JSAF オリンピック強化委員会： http://jsaf-osc.jp/

３．全クラス 共通事項

（1）参加艇数について

大会会場に来なかった選手もしくは全レース DNC となった艇については、参加艇数としてカウントしない。

（2）選考大会成立レース数

指定大会およびユース選考ランキング対象大会において、当該大会が成立したとしても成立レース数が３レース未満の大会は選考対象としない。指定大会において当該条件により代表選手を決定できない場合は、該当する選考大会最終日時点での ILCA 6(Radial)ユース選考ランキングもしくは ILCA 4(４．7)ユース選考ランキング(それもなければクラス別日本ランキング)の上位選手より代表選手を決定し、JSAF オリンピック強化委員会へ推薦する。

（3）指定大会における選考資格者がその資格を辞退した場合について

選考された大会の最終成績順に次点の下位選手へ繰り下げる。それ以降はユース選考ランキング上位者から選定する。ただし、繰り下げた次点の選手が選考対象外の選手（注１）の場合は、順次次点の選手に繰り下げる。

（4）選考資格者が複数の選考審査項目において獲得する権利を有する場合

ユース選考ランキングにおける権利獲得を優先する。それ以降はユース選考ランキング上位者から選定する。指定大会における枠の付与は次点まで繰り下げを行う。ただし、繰り下げた次点の選手が選考対象外の選手(注１）の場合は、順次次点の選手に繰り下げる。

なお、２－１．（１）にて指定された枠数を超える繰り下げは行われない。

（5）選考委員会について

選考委員会の構成はレーザークラス協会強化委員長、強化副委員長、強化委員及び強化委員会依頼のコーチで構成される。

（6）世界選手権等出場枠の配分について

①小数点以下については四捨五入で算定する。

②ILCA からの参加枠付与が減少した場合、指定大会における権利獲得者を優先することとし、残りの枠についてはユース選考ランキング上位者から選考枠を付与する。

（7）タイの解き方

選考大会総合成績及びランキングにおいてタイが発生した場合は、添付 1「ユース選考ランキング対象大会一覧」にある大会番号の若い順の成績からタイを解く。

（8）レーザークラス協会会員登録について

各選考大会に参加する選手については、日本レーザークラス協会への会員登録を必須とする。

（注１）年齢条件等により派遣予定の大会に日本チームとして参加する資格を持たない選手

４．その他

（1）本選考方針及び最新ランキング等の更新情報

日本レーザークラス協会の Web サイトに随時掲載される。
日本レーザークラス協会：http://www.laserjapan.org/

（2）本件についての問合せおよび通知先

日本レーザークラス協会強化委員会あてメールもしくはＦＡＸにて問合せ
日本レーザークラス協会強化委員長　佐々木共之
電子メールアドレス：
ilcajpn-kyouka@cityfujisawa.ne.jp
ＦＡＸ　　：０４６７－７６－１０５２

添付 1　ユース選考ランキング対象大会一覧(2021 年 9 月現在)

大会番号	対象大会	開催時期	開催地	大会グレード For Youth*		Event Rank For Youth		備考
				Rad	4.7	Rad	4.7	
Y-1	JOC ジュニアオリンピックカップ	2022/05	和歌山予定	2	-	50	-	ILCA6 最終選考
Y-2	ILCA 4(4.7)世界選手権 最終選考会	2022/05	津	-	1	-	75	ILCA4 最終選考
Y-3	Laser All Japan Championships	(注 1)	光	1	2	75	50	
Y-4	YMFS セーリング・チャレンジカップ	2022/03	浜名湖	2	2	50	50	
Y-5	ミッドウィンター選手権	2022/02	唐 津	2	2	50	50	
Y-6	クリスマスレガッタ	2021/12	江ノ島	2	2	50	50	

(注 1) 日程候補は 2021/11 もしくは 2021/12
(2021 Laser All Japan Championships レース公示を参照のこと)
＊ ユース選考ランキング対象大会及びグレード等は変更となる可能性がある

添付 2　身体能力測定得点表(2021 年 9 月現在)

性別	得点	シャトルラン 20m	反復 横とび	腹筋	斜懸垂	腕立て 伏せ	握力
男	3 点	120 回	—	70 回	25 回	50 回	—
	2 点	110 回	65 回	60 回	20 回	35 回	—
	1 点	100 回	60 回	50 回	15 回	25 回	55kg
	0.5 点	90 回	55 回	45 回	10 回	15 回	50kg
女	3 点	100 回	—	60 回	20 回	35 回	—
	2 点	90 回	55 回	50 回	15 回	25 回	—
	1 点	80 回	50 回	45 回	10 回	15 回	40kg
	0.5 点	70 回	45 回	40 回	5 回	10 回	35kg

*実施要領及び最新情報については、別途公示される「2022 年度身体能力測定 実施要領」を参照
測定当日の天候及び参加人数等の状況により、実施しない項目が発生する可能性がある

(得点例)

		シャトルラン 20m	反復 横とび	腹筋	斜懸垂	腕立て 伏せ	握力	合計
男 (ILCA6)	A	120 回	66 回	62 回	25 回	27 回	53kg	
		3 点	2 点	2 点	3 点	1 点	0.5 点	11.5 点
女 (ILCA4)	B	78 回	50 回	46 回	12 回	25 回	42kg	
		0.5 点	1 点	1 点	1 点	2 点	1 点	6.5 点

男Ａに、ランキングポイントとして 11.5 点が加算される。
女Ｂに、ランキングポイントとして 6.5 点が加算される。

添付 3　2022 年 ILCA ユース世界選手権一覧 (2021 年 9 月現在)

2022 ILCA 6 (Radial) Youth World Championships
Saturday 23 July 2022 - Saturday 30 July 2022
USA, Texas

2022 ILCA 4 (4.7) Youth World Championships
Saturday 13 August 2022 - Saturday 20 August 2022
PORTUGAL, Vilamoura

＊最新情報については、ILCA の Web サイトを確認願います。
https://sailing.laserinternational.org/public/site/event-list

添付 4　2022 年 ILCA 4 Youth/ILCA 6 Youth/U21 世界選手権への参加資格 (対象年齢)

Age*	12	13	14	15	16	17	18	19	20
Birth Year**	2010	2009	2008	2007	2006	2005	2004	2003	2002
ILCA4 (4.7)	UNDER 16				UNDER 18				
ILCA6 (Radial) Youth				UNDER 17		UNDER 19			
ILCA6 (Radial) Women						UNDER 21			
ILCA7 (Standard) Men						UNDER 21			

*世界選手権開催年に競技者が迎える年齢
**2022 年世界選手権に参加資格のある競技者の誕生年

<ILCA 4 (4.7)対象年齢>
2005 年 1 月 1 日～ 2010 年 12 月 31 日までに生まれた者
<ILCA 6 (Radial) Youth 対象年齢>
2004 年 1 月 1 日～ 2007 年 12 月 31 日までに生まれた者
<U21 ILCA 6 (Radial) Women/ILCA 7 (Standard) Men 対象年齢>
2002 年 1 月 1 日～ 2005 年 12 月 31 日までに生まれた者

添付 5　2022 年 Youth 関連イベント

2022 Asian Games
Saturday 10 September 2022 - Sunday 25 September 2022
CHINA, Hangzhou
http://www.asiansailing.org/event-list/?event_id1=3217

2022 Youth Sailing World Championship
開催地及び開催時期未定
http://www.worldsailingywc.org/about/venues.php

以上

Sponsors

MUSTO Performance Sailcraft Japan
ROOSTER
Patio Systems
AptSystem Co. Ltd. Application Process Technology
RUIFAN JAPAN
KENTAKU ESTATE PLANNING

レスキュークリニック（６／27）
兵庫県立海洋体育館

選手、指導者、海洋施設職員
様々な立場の方の参加がありました。

トラブルを起こさないための艤装のレクチャー

曳航のトレーニング

時間ギリギリまでブリーフィングを行いました。

レスキュークリニック　午前の部　　9:00～12:00

座学講習

・強風でも安全に大会運営を行うための協力体制の構築
救助艇と支援艇のレスキュー知識と技術の共有
- a レース時における情報共有
- b レースコースのエリア化

・レーザー級の特徴を知る
艤装における注意点（安全面から）
- a メインシートの長さとエイトノットの位置
  メインシート 14.5m：強風時ブームが前に出て行きすぎ沈を繰り返してしまう危険性がある！
- b カニンガム・アウトホールのエンドの結び方
  強風と軽風でセッティングを変えましょう！
  ＊マストが抜けにくくなるように
- c ラダー回り
  Gリングの紹介と使用の勧め。
- d ティラーとラダーヘッドの固定
- e センターボードショックコードの取り回し
  従来のバウアイからではなく,デッキブロックベースからの艤装方法の推奨

・ロープ結索・浮環の結索と投げ方、救助備品の紹介
- a **ロープ結索**
  もやい結び、ふた回りふた結び、巻き結び、チェーンノット
- b **浮環の結索と投げ方**
- c **テープスリング、カラビナ、ロープBOX（収納用）、ボートフックの紹介**

陸上講習

・ロープの結索・浮環の結索と投げ方
もやい結び、ふた回りふた結び、巻き結び、チェーンノット（ダブルチェーンノット）
・テープスリングの使い方
・艇の曳航方法の紹介
- a 曳航可能艇
- b 完沈艇の曳航（緊急避難）

レスキュークリニック　午後の部　　１ 13:00～16:00

海上講習

・ボートワーク
- a 艇へのアプローチ方法
  ボートフックの活用
- b 救助者の船内への入れ方
  手のつかみ方 から選手の上げ方（横から上げる際はヘリの低い所から）

・様々な状況でのレスキュー方法（参加者が実施）
- a 曳航
  １ 選手の操船が可能な場合
  ２ 操船不能な場合（沈は起こせたがラダー水没）
- b 沈を起こせない場合の曳航
  １ 危険な状態からの離脱 ： バウアイにロープを通すだけのショートピックアップ
  ＊先ずは安全なエリアへ移動する
  ……結索しない方法
  ２ 曳航方法
  ３ 一時的に艇をアンカーリングして助けを求める場合
  アンカーリングして一時帰港、救助スタッフを確保して艇回収。
  GPS、他艇が認識しやすいように、目立つマーク等を活用（海上保安庁からの指導）

・コーチ実践
- a 海上でのマスト回収方法
  １ 選手と協力してマストを抜く……水中編
  ２ 選手と協力してマストを抜く……ボート横付け方法

16:00～　撤収　レーザー２艇 RIB ２艇
17:15～　ミーティング
18:00　　解散
レスキュークリニックの開催地募集中！
問い合わせは強化委員会まで

レスキュークリニック（10／９）
江ノ島ヨットハーバー

午前中は座学から

佐々木さんのレスキュー経験を踏まえ、
実践的なロープワークの学習。

６月の芦屋クリニックに引き続き、10 月９日に、江ノ島にて２回目のレスキュークリニックを江ノ島で開催いたしました。今回は近隣から高校生のクラブ・フリートを中心に５団体 14 名の方が集まりました。レーザー経験もさることながら仕事柄レスキュー経験が豊富な佐々木強化委員長を中心に、終日トレーニングを行いました。

午前は座学を中心に、トラブル予防を目的としたレーザー艤装の注意点から、レスキューする側の心得として必要と思われるツール紹介、結索の練習、救助するための陸上シミュレーションを行いました。レスキュー艇に常備されている浮環を投げるトレーニングを陸上で行いましたが、実際に投げるのが初めてという方も多数おられました。実際にやってみるとこれが難しく、普段のトレーニングの重要性を認識して頂けたかと思います。

午後は現役選手に協力頂き、海上で実際にトラブルが発生したと想定したレスキューシミュレーションを行いました。海上でブームタイが取れた、ラダーが抜けた、グースネックが飛んだ、半沈状態から艇を復元できないまま岸が迫ってくる、人が流された　等は、実際にもあり得るシーンだと思います。15～6 ノット程度の風が吹いてくれたお陰で、適度にレスキューが難しい状況を再現することができ、非常に有効的なトレーニングを行う事ができました。

クリニック終了後、参加者の皆様にアンケートを実施頂きましたが、「今まで知らなかったことが多数あった」「実際に経験して、レスキューの難しさを体験できた」「得られるものが多数あった」など、非常にポジティブな回答を多数頂きました。

「海に出たら、戻ってくるまで自己責任」これは当たり前のことですが、万が一普段の練習やレース中にトラブルが発生した場合、周りの関係者に責任が及んでしまう事は避けられません。強化委員会では皆さんが安全にレーザーライフを送れるよう、今後も継続してレスキュークリニックを開催し、地域ごとに啓蒙活動を進めていこうと考えております。次回のクリニックは未定ですが、決まりましたら奮ってご参加お願い致します。

（強化委員会　廣瀬一貴）

人命救助を想定し、浮環を上げる練習を陸上へ。
上手く投げられず四苦八苦。

海上で沈艇をレスキューする練習。コーチ陣から激が飛びます。

ハードボートでのレスキューはなかなか難しい。

トラブル対応中のボート操船もなかなか難しい。

人を引き上げるのにもコツが要ります。
最終的には一人で上げられるようになりました。

2021 年 10 月 9 日土曜日、10 月とは思えないほど強い日差しが照り付ける江ノ島ヨットハーバーでレスキュークリニックが開催されました。近隣フリートのコーチ、保護者 20 名弱が参加し、午前は座学、午後は海上にてレスキューの実践訓練を行いました。

まず午前中の座学ですが、資料を使って過去に発生したトラブルを基にどうしたら防げたか、実際にトラブルが発生した場合どう対応すべきか等について講義がありました。また、レーザー艇を囲み、破損しやすい箇所やメンテナンスのポイントについても紹介がありました。セーリング経験のない私には、すべてが目からウロコ、消化不良になるほどに多くの情報量でした。その中でも改めて感じたのが『準備』の大切さです。選手側の艤装チェックなど出艇前の準備もさることながら、“万が一”に備えた支援艇側のレスキュー体制、レスキューに必要な装備、レスキュー対応の知識がいかに大きな事故を防ぐために重要かということを痛感し、身が引き締まる思いでした。

昼食を挟み、午後は海上へ出てレスキューのシミュレーションを行いました。この日、江ノ島の海は強い風とやっかいな波で我々を歓迎してくれました。樋口選手、高山選手がレーザーで出艇し、救助される選手役として参加してくれました。

まずは、ブームタイが外れた選手をサポートする訓練。のはずが、半沈とともにラダーが外れるリアルなトラブルが発生。波乱のスタートとなりましたが、その後、マストを持っての沈起こしのサポート、危険な場所に流された艇の救出、レスキューステーションへのトラブル艇の曳航など、レーザーの練習会さながら佐々木コーチの熱の入った指導の下、様々なシミュレーションを実施しました。昨年、船舶免許を取得したばかりの私は何をするにも四苦八苦。操船技術を磨く必要性を改めて感じました。

一方でシミュレーションとは言え、実際に海上でトラブルへの対処方法を経験する非常に貴重な機会となりました。レーザー協会のホームページに掲載されているトラブルシューティング動画で復習するとともに、レスキュークリニックの内容をフリートメンバーとも共有し、安全な練習運営に努めていければと思った次第です。

救助される選手役として冷たい海に何度も飛び込んでくれた樋口選手、高山選手のご協力に感謝いたします。また、レスキュークリニックを開催いただいた佐々木コーチ、高橋マサコーチ、廣瀬コーチにこの場を借りて御礼申し上げます。

（若洲フリート　北）

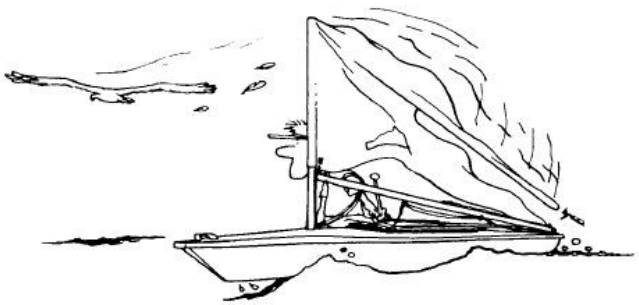
みなさま、お疲れ様でした！

レスキュークリニック/練習会　開催地募集中‼

初日（土曜日）レスキュークリニック
２日目（日曜日）レーザー練習会のプランで指導者、支援者の講習会とセーリングアドバイスをご提案を行います。

興味のあるフリートは是非お問い合わせ下さい。

問い合わせ先
強化委員会　佐々木共之
e-mail　hd05c8283su@gmail.com



.....Laser on the INTERNET.....

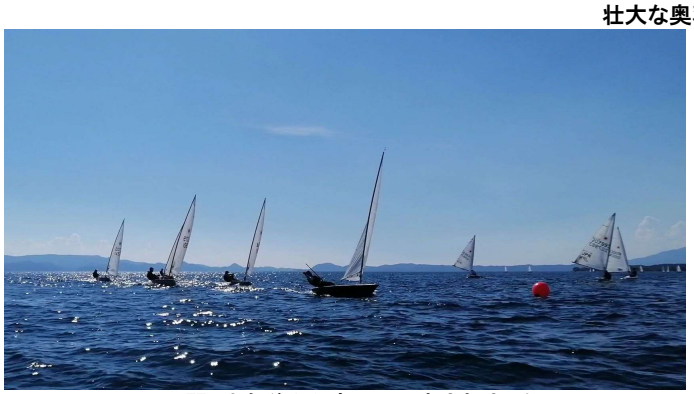
日本レーザークラス協会ホームページ
http://www.laserjapan.org
日本レーザークラス協会ホームページは協会と各委員会からのオフィシャルな広報をはじめ、レガッタの案内からレーザーNews のバックナンバーまでさまざまな情報を見ることが出来ます。

レーザーEメイルリスト
全国のレーザーセイラーが情報や話題を交換するオープンなメイリングリストです。
参加登録は協会ＨＰ http://www.laserjapan.org
表紙右上「レーザーメーリングリストへの参加」からお名前、メールアドレスを入力後、参加ボタンを押して下さい。

国際レーザークラス協会(ILCA)ホームページ
http://www.laserinternational.org
国際レース情報やクラスルール、各国の活動などレーザーに関する世界中の最新情報がここに集まります。

レーザークリニック@猪苗代湖
（７／17-18）参加 20 艇

壮大な奥羽山脈を望む



２日間とも午後から良い風に恵まれました

混戦のマーク回航

ミーティング

風待ち中に陸上でシミュレーション

７月 17-18 日に猪苗代で開催されたレーザークリニックにスタンダードクラスで参加させていただきました。レーザーに乗り始めてからまだ間もないため緊張していましたが、楽しい２日間を過ごすことができました。

今回のクリニックではオンデッキからハイクアウトコンディションまでいろいろな風で練習することができました。風がない時間はスタートの座学や乗り方のコツ、最新の艤装など様々なことを教えていただき大変勉強になりました。

湖上での練習内容としてはゲートスタートからの帆走やスタート練習、２日目にはレースを行いました。湖上でのアドバイスに加え、陸上での動画を見ながらのフィードバックもあり、上手な人との差がよくわかりました。特にマーク回航での課題が如実に表れ、どれだけの損をしているのかを思い知らされました。たくさん課題が見つかったので１つ１つ克服していきたいです。いつも１艇で練習していたので、クリニックで複数の艇と練習するのは非常に楽しく、貴重な経験ができました。猪苗代のアットホームな雰囲気も居心地がよかったです。

最後にコロナウイルス感染症などの影響がある中、クリニックを開催してくださった関係者の皆様にはとても感謝しております。本当にありがとうございました。また機会があったら参加したいです。

（新潟フリート　稲葉省吾）

感動！レーザークリニック＠猪苗代

7/17、18 の二日間、猪苗代湖で開催されたレーザークリニックに参加しました。
梅雨明け直後で、まさに初夏。両日とも山々の緑は眩しく、澄んだ湖水を渡る南の軽風は涼しく、まさに絶好の行楽日和、いや、練習日和。参加者は若者を中心に約 20 名、スタンダートとラジアルが半々で、それぞれ廣瀬コーチ、佐々木コーチがコーチングしてくださいました。

レポートを仰せつかった江の島Ｆのオークマです。四半世紀前に入社した会社でヨット（レーザー）に出会って以来、数度の中断を屁ながら、いや、経ながら細々とレーザーを続けてきました。活動と言えば、たまにフリートレースに出て後ろのほうを走るくらいで、どちらかと言うとレース以外のセーリング（穏やかな日は、海上散歩や岩場での素潜り、風の強い日は、ひたすらプレーニング。そして、何といっても終了後のビール！）を楽しんできました。２年前にレーザーを再開してからフリートレースに参加するようになりましたが、スタートのやり方も分からず他艇に迷惑をかける始末。これはイカンと、クリニックに参加させていただくことにしました。

今回クリニックでは、レーザー本来（？）の、厳しくも楽しいレースの世界を垣間見ることができました。コーチの説明の一つ一つが新鮮で、感動的でした。レーザーセイラーっていうのは、ああ見えて（失礼）、こんなに複雑なことを考えて、こんなに小さな変化に拘っていたのか…。20 年前にクリニックに参加していれば、とも思いましたが、きっとこの年になったからこそ素直に感動できたのだと思います。

さて本題ですが、今回のコーチが教えてくださった内容は、乗艇時の位置や姿勢、ティラーの持ち方から始まってコース取り、スタート前の「ホバリング」や最新トレンドの「ネガティブ・パンピング」まで、多岐にわたるものでした。私のレベルでは実行が難しいものもありましたが、午前中に座学で教わった内容を午後に実践し、改善を実感できるという経験は大変効率が良く、密度の高い練習時間でした。

たとえば、スタート前にライン付近に留まる「ホバリング」は、バングのオン/オフでマストの曲がり具合を調整し、セールの中心を前後に移動させてフネの向きを調整する技術ですが、実際やってみてもうまく留まっていられません。「マストをちょっと曲げるくらいでフネの向きが調整できるの？」と半信半疑だったこともあり、ついいつもやっているようにメインシートとティラーでフネを留めようとしていたところ、コーチから「メインシートを 1.5～2m出して、バングで調整！」と言われ、素直にやってみると、確かにフネの向きが変わるではありませんか。まさに目からウロコ。レーザーって、とても精密！と感動しました。

また、座学でセールトリムの重要性を教わりましたが、これまで実際にどのくらい変わるのかを実感できたことはありませんでした。しかし、クローズの実践中、コーチから「バングをもう少し引く！」「ブームエンドはトラベラーのアイの上！」「アウトホールをもう少し引く！」と言われてそのとおりに調整すると、それまで何となくモタついていたフネがいきなり滑らかに走るようになり、それまで並走していた隣艇に比べてスピード、角度ともに明らかに改善しました。レーザーって、とてもデリケート！と感動しました。

上記を含め、今回のクリニックで、スクラップブックに書きなぐったメモは 20 ページ。あまりに多くのことを教わったので咀嚼には時間がかかりそうですが、ひとつひとつ身に付けてレーザーのレースを楽しめるように成長したいと思います。毎日のスキ間時間に再整理したメモを読んでは、猪苗代の美しい風景、いや、コーチに教えていただいた様々な技術を思い出しています。こんな時間も、楽しいですね！

最後になりましたが、ホストの猪苗代の皆様、温かいサポートをありがとうございました。また、佐々木コーチ、廣瀬コーチ、イベントを主催してくださったレーザークラス協会の皆様、ありがとうございました。忘れがたい、素晴らしいイベントでした！

（江の島フリート　大隈健五）

今回、７月 17~18 日に開催された猪苗代レーザークリニックに参加させていただきました。渡辺海帆です。
２日間とも、風域は軽風で、私が苦手とする軽風中心の練習でした。ラジアルクラスは佐々木さんにコーチングして頂き、陸ではビデオを使った指導をして頂きました。自分の課題が沢山見つけられた２日間だと思います。

これからの練習では課題を一つ一つクリアできるように頑張りたいと思います。２日間ありがとうございました。

（いわきフリート　渡辺海帆）

レース結果
Regatta Results
●協会認定公式記録●

関東選手権　（７/10-11）東京都江東区若洲
東京 2020 直前　代表選手と一緒にレース！

若洲のシンボル、ゲートブリッジを眺めながらスタート！

ディズニーランドを右手に見てダウンウインド、みんな余裕はあるかな？

やっぱりこうなるか！

二日間とも午後からの順風により上マーク付近では混戦模様。

開会式では加藤会長音頭によるオリンピック代表の
二人の壮行会が行われた

代表の土居愛実選手…安定した走りでもちろん優勝！

こちらも代表の南里選手も余裕のＶ

７月 10 日、11 日の関東選手権大会は私にとってレーザーを始めて以来、３回目の大会となりました。両日共軽風予報であったため荒川、江戸川の影響を考慮した走りができればと意気込みました。

１レース目は下側からの流れを深読みし、スタートに失敗。しかし、安全なコースを取りつつも川流れの速いところを狙い、艇団よりも右でスピード感のある走りができ、１位でフィニッシュ。

２レース目は１レース目と同じく右海面を意識して走りましたが、左海面でリフトを確実に走ってきた艇に抜かれてしまい３位でフィニッシュしました。

３レース目は予報よりも強い風が吹きはじめ、波の有るあまり得意ではないコンディションとなりましたが、できるだけ深いセールセットで走り、スピードで差をつけることができ２位となりました。

二日目の４レース目、５レース目は、初日の暫定順位が２位だったこともあり、全体と戦うというよりは特定の艇を抑えるということを念頭に置いて走りました。しかし、１上は２レース目と同じく、左を取った艇に何艇か抜かれてしまったため、２上で戻ってくる振れを期待して走り、両レース１位でフィニッシュしました。

若洲でのレースは午前中と午後、また川の速い所と遅い所、さらには荒川と江戸川の流れの向きなどの沢山の要因を元にコースを引かなければならないと教えられました。以前より若洲を拠点として活動している選手に負けないかと心配でしたが、このようにレポートを書ける程の成績を残せたこと、また、オリンピック選手と一緒に表彰台に登れたことを嬉しく思います。最後に運営やドリンク等のサポートをして頂いた皆様、本当にありがとうございました。

がんばれニッポン！

（江ノ島フリート　千葉欽汰朗）

STD クラス上位3名

ラジアルクラス上位3名

4.7クラスの上位3名、これからの活躍に期待!!

2021年 レーザー関東選手権大会

閉会式直前の突然のサンダーストームのなか
皆さん最後までありがとうございました。

スタンダードクラス

Rank	Sailor	Fleet	Sail No	R1 Rank	R2 Rank	R3 Rank	R4 Rank	R5 Rank	Assoc. ID	Age Group
1	南里 研二	津	216311	1	2	1	2	1	5524	
2	鈴木 義弘	光	204996	2	1	2	1	2	6099	
3	樋口 碧	江ノ島	208222	3	3	3	11	3	5905	
4	大塚 邦弘	逗葉	216252	7	4	10	4	4	4943	Master
5	藤本 拳	江ノ島	215038	4	6	6	6	5	5954	
6	齋藤 大輔	秋田	206914	6	5	8	7	7	5404	
7	木村 俊介	材木座	208615	5	8	5	17	9	6394	
8	Clay Bischoff	材木座	201543	8	7	4	14	DPI	0	
9	大川 晃弘	江ノ島	109377	9	9	7	9	15	6280	
10	都 茂樹	TokyoBay	213161	12	12	17	3	11	3867	Master
11	竹内 修祐	芦屋	217058	10	15	16	8	12	6771	
12	小見山 三知男	沼津	133154	11	18	14	5	16	1192	GGM
13	山下 力蔵	材木座	211037	14	11	13	16	8	5208	Master
14	堀田 学	材木座	207993	15	10	12	10	19	5653	Master
15	荒岡 晃彦	大阪北港	211030	18	13	11	12	14	6272	GM
16	神谷 空弥	蒲郡	202612	16	14	9	15	13	6480	U21
17	齋藤 匠	材木座	198855	13	16	15	13	10	5626	
18	鈴木 博之	材木座	214392	19	17	20	22	17	5961	
19	齋藤 吉彦	浜名湖	207434	21	19	18	19	18	6820	GM
20	佐藤 孝郎	TokyoBay	196465	20	20	19	18	20	5732	GM
21	北川 邦弘	逗葉	184057	17	22	21	DNC	DNC	5519	GM
22	若林 宏	材木座	182301	22	21	23	20	22	6100	Master
23	南雲 達弥	逗葉	211911	23	DNS	22	21	21	6237	GM

ラジアルクラス

Rank	Sailor	Fleet	Sail No	R1 Rank	R2 Rank	R3 Rank	R4 Rank	R5 Rank	Assoc. ID	Age Group
1	土居 愛実	江ノ島	199066	1	1	1	1	1	5770	
2	黒田 浩渡	津	217704	2	2	4	4	2	6228	Youth
3	富部 柚三子	江ノ島	202611	3	5	2	5	3	5563	
4	嶋倉照晃	水域M推薦	213159	5	3	DNS	2	4	6435	Youth
5	遠藤 海七希	江ノ島	213154	4	4	5	BFD	7	6325	Youth
6	田中 年彦	蒲郡	202613	15	8	3	18	6	5991	Maste
7	三浦 帆香	TokyoBay	213158	10	9	6	7	25	6339	Youth
8	西村 拓真	江ノ島	210513	8	10	10	25	5	6778	Youth
9	須永 笑顔	江ノ島	217071	6	7	11	10	14	6492	Youth
10	丸田 杏	大阪北港	172269	9	11	7	BFD	8	6257	
11	荒木 智也	若洲	209508	11	6	12	19	12	6330	Youth
12	荒井 かおる	江ノ島	201484	17	13	9	3	28	5728	
13	岡田 爽良	江ノ島	196489	7	17	19	13	10	6612	Youth
14	平尾 英治	TokyoBay	217068	16	15	8	30	9	4674	Maste
15	服部 輝海	江ノ島	217702	12	16	13	21	11	6814	Youth
16	森 映心	江ノ島	170976	19	12	14	BFD	16	6709	Youth
17	関根 巧	TokyoBay	173738	25	18	18	14	15	6825	Youth
18	和知 健太郎	江ノ島	184018	21	34	21	6	23	6731	Youth
19	藤森 佑太郎	TokyoBay	175456	32	27	16	12	18	6775	Youth
20	加藤 重雄	津	187421	14	20	20	24	19	826	GGM
21	柿元 麻衣	蒲郡	213153	13	25	15	BFD	21	6398	
22	杉田 修康	TokyoBay	154572	22	21	24	11	30	5881	Maste
23	三田村 徹	津	217024	20	14	DNS	27	17	6717	GM
24	北原 頌子	江ノ島	216312	18	28	26	15	22	6772	Youth
25	青木 澪	江ノ島	151791	30	35	25	9	20	6697	Youth
26	大村 杏奈	江ノ島	217056	24	24	29	23	13	6285	U21
27	山田 真理歩	江ノ島	201483	23	19	23	20	27	6637	Youth
28	北 七斗	若洲	209509	26	23	30	16	24	6714	Youth
29	山内 俊夫	材木座	206509	27	22	17	26	35	3530	GM
30	落合 創太	若洲	202603	31	33	32	8	31	6711	Youth
31	佐藤 潔	TokyoBay	214979	29	26	27	22	33	3384	GM
32	見目 なお子	TokyoBay	173421	28	29	22	31	26	6101	Maste
33	鈴木 万三	江ノ島	209502	33	31	28	32	36	6212	GM
34	芳野 紀良	TokyoBay	114649	35	32	33	28	32	3081	GM
35	小林 祥訓	大阪北港	190949	34	30	DPI	35	29	6196	Maste
36	小山 すみれ	若洲	212629	DNC	DNC	DNC	17	34	6461	Youth
37	村田 奈穂	TokyoBay	146691	38	37	35	29	38	6833	Youth
38	綿抜 慶一郎	江ノ島	179339	36	DNS	34	33	37	6611	Youth
39	向井 博	江ノ島	206175	37	36	DPI	34	39	5424	GGM
40	矢崎 洋司	諏訪湖	154074	DNC	DNC	DNC	DNC	DNC	2954	GM
40	鈴木 康希	江ノ島	160318	DNC	DNC	DNC	DNC	DNC	6597	Youth

4.7クラス

Rank	Sailor	Fleet	Sail No	R1 Rank	R2 Rank	R3 Rank	R4 Rank	R5 Rank	Assoc. ID	Age Group
1	千葉 歓汰朗	江ノ島	180159	1	3	2	1	1	申請中	U16/18
2	武田 琢磨	江ノ島	151791	2	2	1	2	3	6845	U16/18
3	竹澤 大樹	江ノ島	123487	4	5	5	3	2	6863	U18
4	工藤 聡太	江ノ島	184018	3	1	3	DNC	DNC	6937	U16/18
5	岡山 紗奈	江ノ島	111951	UFD	6	4	5	4	6852	U18
6	北浦 菜月	若洲	124952	5	7	6	4	6	6956	U16/18
7	竹中 めい	若洲	213914	UFD	4	7	6	7	6818	U16/18
8	浦部 天音	若洲	168618	UFD	8	8	7	5	6904	U18

EVENT & RACE SCHEDULE
イベント＆レース スケジュール

★ 以下の各催し物参加にはメンバー資格が必要です ★

Date	Notice Of Race / Event Notice
10/16-17	関西選手権/和歌浦F 和歌山セーリングセンター ★☆
	漸次webにて発表 http://www.laserjapan.org/
~~10/23-24~~ 中止	中国選手権/山口F 山口県秋穂CAPEHOUSE ★☆
	http://sail.jpn.com/modules/docs/index.php?content_id=202
~~10/30-31~~ 中止	秋の東北選手権/仙台F 仙台松島ヨットハーバー ★☆
	漸次webにて発表 http://www.laserjapan.org/
11/6-7	全日本マスターズ選手権/境港F 鳥取県境港市境港公共マリーナ ★☆
	特集ページ参照 http://sail.jpn.com/modules/docs/index.php?content_id=205
11/20-23or 12/24-27	2021Laser All Japan Championships/光F 山口県スポーツ交流村ヨットハーバー ★
	特集ページ参照 http://sail.jpn.com/modules/docs/index.php?content_id=203
2022/ 2/10-13	2022レーザーミッドウィンターレガッタ/唐津F 佐賀県ヨットハーバー ★☆
	漸次webにて発表 http://www.laserjapan.org/

- セーリング競技規則2021-2024・日本セーリング連盟規程・レーザークラス規則・レースの公示、（以上は帆走指示書による変更を除く）、および、帆走指示書が適用されます。
- ★＝各艇種別ランキング対象大会、☆＝All Japan Championshipsクオリファイ対象大会
- 内容は編集時のものです。詳細情報は問合せの上、ご確認ください。

Date	Notice Of Race / Event Notice
11/3-10	2021 ILCA Standard Men's World Championship／SPAIN, Barcelona
	代表選手: 瀬川和正（境港）、鈴木義弘（光）、竹内修祐（芦屋）
	https://sailing.laserinternational.org/public/site/event-site/129
11/11-20	2021 ILCA Masters World Championships／SPAIN, Barcelona
	選手:永岡隆文(屈斜路湖)
	https://sailing.laserinternational.org/public/site/event-site/130
11/29- 12/6	2021 ILCA 6 (Radial) Women's World Championship／OMAN, Al-Musannah Sports City
	https://sailing.laserinternational.org/public/site/event-site/126
11/29- 12/6	2021 ILCA 6 (Radial) Men's World Championship／OMAN, Al-Musannah Sports City
	https://sailing.laserinternational.org/public/site/event-site/127
2022 5/21-28	2022 ILCA 7 Men's World Championship／MEXICO, Nuevo Vallarta
	https://www.vallartayachtclub.org/index.php/en/
2022 5/30-6/7	2022 ILCA 7 Masters World Championship／MEXICO, Nuevo Vallarta
	https://www.vallartayachtclub.org/index.php/en/
2022 6/9-17	2022 ILCA 6 Masters World Championship／MEXICO, Nuevo Vallarta
	https://sailing.laserinternational.org/public/site/event-site/126
2022 7/23-30	2022 ILCA 6 Youth World Championship／USA, La Porte, Texas
	https://houstonyachtclub.com/
2022 8/13-20	2022 ILCA 4 Youth World Championships／PORTUGAL, Vilamoura
	https://www.arvelasul.com/capable-planet-clube-nautico
2022 8/21-28	2022 ILCA U21 World Championships／PORTUGAL, Vilamoura
	https://www.arvelasul.com/capable-planet-clube-nautico
2022 10/4-11	2022 ILCA 6 Women's World Championship／CHINA, Qingdao
	https://sailing.laserinternational.org/public/site/event-list
2022 10/4-11	2022 ILCA 6 Men's World Championship／CHINA, Qingdao
	https://sailing.laserinternational.org/public/site/event-list

2023 2/8-16	2023 ILCA 6 Masters World Championship／THAILAND, Pattaya https://sailing.laserinternational.org/public/site/event-list
2023 2/18-26	2023 ILCA 7 Masters World Championship／THAILAND, Pattaya https://sailing.laserinternational.org/public/site/event-list

●内容は編集時のものです。最新情報は問合せの上、ご確認ください。

2021 年度レーザークリニック

2021 年度

Date	Notice Of Race ／ Event Notice
10/23-24	レーザークラス、レーザーラジアルクラス in 芦屋 特集ページ参照　担当コーチ:高橋、永井
2022 1/22-23	レーザークリニック in 唐津 漸次webにて発表 http://www.laserjapan.org/
2022 1/29-30	レーザーラジアルクラス、レーザー４．７クラス in 江ノ島 漸次webにて発表 http://www.laserjapan.org/

2021 年度レーザー強化練習会

Date	Notice Of Race ／ Event Notice
11/3	レーザーラジアルクラス、レーザー４．７クラス in 江ノ島 特集ページ参照　担当コーチ:佐々木、高橋、廣瀬

フリートみんなでレベルアップのチャンス！！
全国へコーチ派遣します。

2021 年度のコーチ派遣を４フリート（開催地）として計画しています。下記地域の未実施フリートから受け付けます。

1　北海道　2　東北　3　北信越　4　その他 地域

開催に関するご相談、準備について等々、気軽にご連絡ください。
連絡先：ilcajpn-kyouka@cityfujisawa.ne.jp
担当 佐々木　　日本レーザークラス協会　強化委員会

期　　間　2021 年４月～2022 年３月

日　　数　１回　２日間

対　　象　①各レーザーフリート
②レーザーでクラブ活動を行っている団体
（ただし申込は近隣フリート経由でお願いします）

参加資格　日本レーザークラス協会メンバー及び各フリートキャプテンが認めた選手

派遣コーチ　日本レーザークラス協会強化委員会および強化委員会指名コーチを１名派遣します。

費　　用　派遣コーチの交通費、謝金、宿泊費は日本レーザークラス協会が負担します。

申込方法　必要事項を記入の上、
日本レーザークラス協会強化委員会宛
ilcajpn-kyouka@cityfujisawa.ne.jp
メールでお申し込み下さい。
ご希望の日程で派遣できない場合は可能な限り調整します。

＊応募多数の場合は開催にかかる準備を強化委員会と調整した後決定します。

お願い　ホストフリートでは以下の準備をお願いします。
①開催要項の作成（ひな形は提供します）
②参加者名簿の作成
③コーチボートの準備
④ミーティングルームの確保　他
⑤その他必要経費は参加費（フリート予算等）でお願いします。

日本レーザークラス協会コーチ派遣　申込用紙

日本レーザークラス協会コーチ派遣に下記の内容にて申し込みます。

送付先　：　ilcajpn-kyouka@cityfujisawa.ne.jp

１．申込者氏名　：
フリート名　：
フリートキャプテン氏名　：
担当者連絡先　：　氏名
携帯　　E-mail

２．開催希望日　第１希望　月　日　～　月　日
第２希望　月　日　～　月　日
第３希望　月　日　～　月　日

３．参加艇種　：
予想参加人数　：
フリートメンバー以外の参加予定の有無
（○をつけてください）有り　　無し
有りの場合は団体名　：

４．講習内容の希望

EVENT information

レーザークリニック（芦屋）
兵庫県芦屋市　兵庫県立海洋体育館
2021 年 10 月 23 日-10 月 24 日

兵庫県芦屋市兵庫県立海洋体育館にてレーザークリニックを開催します。対象艇種はレーザー・レーザーラジアルクラスです。
目標大会に向けた準備として、技術・レース戦術等のレベルアップのアドバイスをさせて頂きます。なお参加についてはコロナ対策指針に従いご参加ください。

1. 主　　催　　一般社団法人　日本レーザークラス協会
2. 開催時期　　2021 年 10 月 23 日(土)～10 月 24 日(日)　２日間
3. 開催会場　　兵庫県芦屋市 兵庫県立海洋体育館
　　〒659-0032 兵庫県芦屋市浜風町 30-2
4. 練習内容　　１）海上トレーニング
　　２）陸上トレーニング（コンディショニング）
5. 参加資格　　2021 年日本レーザークラス協会会員
6. 対象種目　　レーザークラス、レーザーラジアルクラス

7. 募集人員　　各クラス 15 名程度
　　（※参加承認については開催地域周辺選手及びエントリー先着順位を考慮し承認通知を行います。）

8. 参 加 費　　2,500 円 / 1 日
　　（※参加費は練習会当日に徴収します）

9. 参加申込手続き方法・期日
　　参加申込：2021 年 10 月 14 日（木）〆切
　　参加申込先:日本レーザークラス協会強化委員会　奥津
　　E-mail ： ilcajpn-kyouka@cityfujisawa.ne.jp

10. コーチ・スタッフ　高橋昌威、永井久規、協力スタッフ

11. 保険　　参加選手は有効な傷害保険、賠償保険に加入していなければならない。

12. 責　　任　　参加者は、自己の責任において、このクリニックに参加するものとする。主催団体またはこのクリニックに関わる運営役員、ボランティアは、参加者のクリニック前クリニック中、クリニック後の死亡、怪我、病気またはその他の物質的な損害についての責任を負わない。

13. スケジュール

日程	時間	内容	備考
10 月 23 日	9:00～10:00	集合、受付 練習会準備	
	10:00～10:30	ミーティング	練習内容説明等
	10:30～12:00	海上練習	
	12:00～12:30	昼食	昼食は海上
	12:30～15:30	海上練習 練習レース	
	16:00～16:30	クーリングダウン ストレッチ	
	16:30～17:00	ミーティング	
10 月 24 日	9:00～	集合	
		ミーティング	練習内容説明
	10:00～12:00	海上練習	
	12:00～12:30	昼食	昼食は海上
	12:30～15:30	海上練習 練習レース	
	16:00～17:00	ミーティング 解散	

（注 ）＊スケジュールに関しては変更することがあります。

14. コロナ対策について
　以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること
　1）体調がよくない場合
　　（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
　2）同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
　3）過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

以下の事項に関して遵守お願いします
　1）マスクを持参すること
　　(参加受付時や会話をする際にはマ スクを着用すること)
　2）こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施
　3）他の参加者、主催者スタッフ等との距離を確保すること
　4）講習開催中は大きな声での会話等をしないこと
　5）感染拡大防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守し主催者の指示に従うこと
　　当日、参加者への同伴者は連絡票に必要事項を記入し提出をお願いします
　6）講習終了後２週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに 濃厚接触者の有無等について報告すること

15. そ の 他
　1）健康保険証を持参のこと。
　2）トレーニングウェア＆シューズを持参のこと。
　3）筆記具を持参すること
　4）昼食（含む捕食バナナ、栄養ゼリー、水分）は各自持参のこと。
16. 問い合わせ先
　日本レーザークラス協会強化委員会　奥津
　E-mail ： ilcajpn-kyouka@cityfujisawa.ne.jp

以下は公示に含まれない連絡事項
１．宿泊先等の地元情報　　※宿泊は各自手配してください
　○ホテルヒューイット甲子園　　０７９８－４８－１１１１
　○ホテル千歳　０７９８－３３－０３３９　阪急今津駅近く
　○やっこ旅館
　　http://www.yakkoryokan.com/ryokana_info/index.html/

２．海洋体育館以外から艇を持ち込む場合、艇持ち込み料が必要です。初日受け付け時に艇持ち込み料 800 円×2 日間＝1600 円を参加料と併せて現金でお支払いください。
なお 10 月 22 日（金）以前に艇を持ち込まれる場合、ハーバーに直接お支払いください。

兵庫県立海洋体育館(芦屋マリンセンター)
〒659-0032　兵庫県芦屋市浜風町 30-2
TEL:0797-32-2255　URL：http://ashiyamarine.sakura.ne.jp/

３．チャーター艇１艇をご用意できます（６，０００円）
詳細につきましては、芦屋フリートの渡邊までお問い合わせください。

４．会場の兵庫県立海洋体育館は、当日 10 月 23 日（土）は AM 9:00 までは開門いたしません。
開門前にたくさんの車が集まると、体育館前の道路渋滞で近隣住民の方から苦情が出ます。時間調整の上、ハーバーにお越しくださいますようお願いいたします。

５．芦屋フリート問い合わせ先
　渡邊　　メールアドレス； taka150181@yahoo.co.jp
　携帯電話；０９０－５１６５－８０８４

スポーツくじ
BIG
私たちはスポーツ振興くじ助成を受けています。

レーザー強化練習会（江ノ島）開催公示
神奈川県江ノ島ヨットハーバー
2021 年 11 月 3 日

神奈川県江ノ島ヨットハーバーにてレーザー強化練習会を開催します。対象艇種はレーザー4.7 クラスです。目標大会に向けた準備として、技術・レース戦術等のレベルアップのアドバイスをさせて頂きます。なお参加についてはコロナ対策指針に従いご参加ください。

※コロナ感染の状況次第で中止とする可能性がございます。
予めご了承ください。

1. 主　　催 日本レーザークラス協会

2. 開催時期 2021 年 11 月 3 日（水）

3. 開催会場 神奈川県 江ノ島ヨットハーバー
〒251-0036 神奈川県藤沢市江の島 1-12-2

4. 練習内容 1）海上トレーニング
2）陸上トレーニング（コンディショニング）

5. 参加資格 2021 年日本レーザークラス協会会員

6. 対象種目 レーザーラジアルクラス、レーザー４．７クラス

7. 参 加 費 1,500 円/ 日（※参加費は練習会当日に徴収します）

8. 参加申込手続き方法・期日
参加申込：2021 年 10 月 28 日（木）〆切
参加申込先：日本レーザークラス協会強化委員会奥津
E-mail: ilcajpn-kyouka@cityfujisawa.ne.jp

9. コーチ・スタッフ
佐々木共之、高橋昌威、廣瀬一貴、他協力スタッフ

10. 保険
参加選手は有効な傷害保険、賠償保険に加入していなければならない。

11. 責任
参加者は、自己の責任においてこの練習会に参加するものとする。主催団体またはこの練習会に関わる運営役員、ボランティアは、参加者の練習会前、練習中、練習会後の死亡、怪我、病気またはその他の物質的な損害についての責任を負わない。

12. スケジュール

日程	時間	内容	備考
11 月 3 日	8:30～9:00	受付 ※建屋ウッドデッキ前	参加費徴収
	9:00～9:30	ミーティング 練習会準備	練習内容説明
	10:00～14:30	海上練習	B-1 海面
	15:30～	クラス別ミーティング 解散	

（注 ）＊スケジュールに関しては変更することがあります。

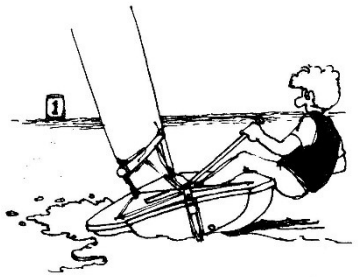
13. コロナ対策について
以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること

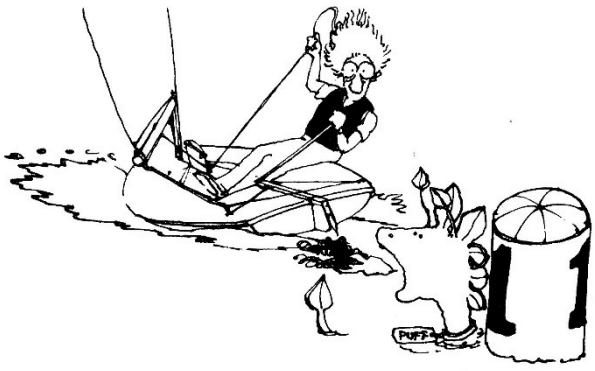
1）体調がよくない場合
（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
2）同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
3）過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

以下の事項に関して遵守お願いします
1）マスクを持参すること
（会話をする際にはマスクを着用すること）
2）こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施
3）他の参加者、主催者スタッフ等との距離を確保すること
4）講習開催中は大きな声での会話等をしないこと
5）感染拡大防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと
当日、参加者への同伴者は連絡票に必要事項を記入し提出をお願いします
6）講習終了後２週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに 濃厚接触者の有無等について報告すること

14. そ の 他
1）健康保険証を持参のこと。
2）トレーニングウェア＆シューズを持参のこと。
3）筆記具を持参すること
4）昼食（含む捕食バナナ、栄養ゼリー、水分）は各自持参のこと。
＊昼食は海上になります。
5）シニア選手については海上集合を可といたします。

15. 問い合わせ先
日本レーザークラス協会強化委員会 奥津
E-mail ： ilcajpn-kyouka@cityfujisawa.ne.jp





EVENT information 大会要項

第 37 回レーザー全日本マスターズ選手権大会
鳥取県境港市 境港公共マリーナ
2021 年 11 月 6 日-11 月 7 日

主 催：一般社団法人 日本レーザークラス協会
　　レーザー境港フリート
協 力：鳥取県セーリング連盟
協 賛：パフォーマンスセイルクラフトジャパン
　　ルースターセーリングジャパン
後 援：公益財団法人とっとりコンベンションビューロー

NOTICE OF RACE

1. 適用規則

1.1. 本レガッタは、2021-2024 セーリング競技規則(以下 RRS)に定義された規則を適用する。
1.2. [DP]は、プロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する規則を意味する。[NP]の表記は、艇は他艇の規則違反に対し抗議できないことを意味する。これは RRS60.1(a)を変 更している。
1.3. レーザー・クラス・ルール 7(a)は適用されない。次のように変更する。
「レース中は登録された 1 名のみ乗艇できる。」

2. 広告

2.1. 競技者広告は、クラスルールに定められたとおりとする。

3. 競技種目

・レーザースタンダードクラス
・レーザーラジアルクラス
・レーザー４．７クラス

4. 参加資格等

4.1. 日本レーザークラス協会の 2021 年度メンバーであること。
4.2. (公財) 日本セーリング連盟の 2021 年度メンバーであること
4.3. 受付時に 4.1、4.2 の会員証を提示すること。
当日､当会員証を提示できず 4.1､4.2 が確認できない場合、参加できない場合がある。
4.4. 男性は 2021 年 11 月 6 日 (土) 時点で満 35 歳以上であること。参加者は下に示す年齢別カテゴ リーに分かれ、カテゴリーごとに順位を決める。カテゴリーを表す色分けしたバンドをマストのグ ースネック下に取り付け､どのカテゴリーの選手か判別できるようにする。
満 35 才以上 45 才未満 Apprentice (AP) BLACK
満 45 才以上 55 才未満 Masters (MA) RED
満 55 才以上 65 歳未満 Grand Masters (GM) YELLOW
満 65 才以上 Great Grand Masters(GGM) BLUE
4.5. 女性には年齢の要件はない。レーザーラジアルクラスまたはレーザー４．７クラスに参加する場合に は、年齢別カテゴリーはないが、レーザースタンダードクラスに参加する場合には年齢別カテゴリーに分かれ、男女総合順位となる。

5. 参加申込

5.1. 参加申込みは大会ホームページ http://sail.jpn.com にてオンラインエントリーを行う。参加料の入金が確認できたことにより、申し込みを完了する。
5.2. 下記口座に参加料を振り込むこと。期間は 10 月 18 日 (月) ～10 月 29 日 (金) とする。
振込先：山陰合同銀行 米子支店 普通 4522252
レーザーマスターズ境港 会計 柏木 規孝
5.3. 参加申込締切日：10 月 29 日 (金) とする。レイトエントリーは行わず、締め切り日以降は受け付けない。※オンラインエントリーと振り込みの期限が同日なので厳守のこと。
5.4. 参加申込締切日 (10 月 29 日) 後の不参加申出期間については 11 月３日までとし、返金手数料 (一律 1,000 円) を差し引いた金額を返却する。11 月 4 日後は参加料の返却はせず得点記録 DNC として記録する。
5.5. コロナ感染防止対策として、大会当日までに体調不良などの理由による不参加申し出に関して参加料は返金手数料 (一律 1,000 円) を差し引いた金額を返却する。以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。
ア) 体調がよくない場合 (発熱、咳、咽頭通などの症状がある場合)
イ) 同居家族や身近な知人にコロナウィルスの感染が疑われる方がいる場合。
ウ) 大会当日 14 日前以内に政府から入国制限、入国後の観察機関を必要とされている国､地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。
上記を遵守できない参加者には他の参加者の安全を確保する等の観点から本大会の参加を取り消されたり途中退場を求める場合がある。
＊エントリー取り消しの申し出は下記問い合わせ先 (NOR20) まで速やかに連絡のこと。

6. 参加料

6.1. エントリーフィー選手１名につき 15,000 円
6.2. 参加料にはハーバー使用料、駐車場代、シャワー代を含む。
＊新型コロナウィルス感染拡大防止のためレセプションは行わない。

7. 日程

7.1. 大会日程

	Date	Event	Time
Day0	11 月 5 日 (金)	大会受付・ 計測 (計測フォーム提出方式)	13:00-16:30
Day1	11 月 6 日 (土)	大会受付・ 計測 (計測フォーム提出方式) 開会式、ブリーフィング 第１レース予告信号 引き続きレースを行う。	08:00-9:30 10:00 12:25
Day2	11 月 7 日 (日)	ブリーフィング その日最初のレース予告信号 引き続きレースを行う。 表彰式・閉会式	08:30 09:55 15：30

ただし、天候その他の事情により日程はレース委員会の裁量で変更することがある。
最終日には、14 時 00 分より後に予告信号を発しない。
各日とも海上で昼食をとることがある。
7.2. レース数 クラス別に５レースの実施を予定する

8. 計測

8.1. 各艇は、計測フォームを提出しなければならない。
8.2. 艇は、直径６㎜以上、長さ５m 以上のバウラインを搭載し、その一端はバウアイに結び付けられて いなければならない。
8.3. 艇はマスト抜け落ち防止策を講じなければならない。
8.4. 大会期間中、レース委員会は随時、艇または装備の検査をすることがある。

9. [DP] [NP] 安全

9.1. マストトップに浮力体を取りつけても良い。形状は球形に限り、１箇所のロープで取り付け なければならない。コンディションにより、付けたり外したりしても良い。

10. SAILING INSTRUCTIONS

SAILING INSTRUCTIONS は 10 月 30 日までに大会サイト http://sail.jpn.com より入手できる。

11. 開催地

11.1. 鳥取県境港市「境港公共マリーナ」及びその沖の海面

11.2. 添付図 1 にレース・エリアの位置を示す。

12. コース

帆走するコースは、トライアングル＋ソーセージ、トライアングル＋ソーセージ２周、ソーセージコース２周又は３周、トラペゾイドを予定している。

13. ペナルティ方式　13.1. RRS 付則Ｐ及びＴを適用する。

14. 得点

14.1. シリーズの成立には１レースを完了することが必要である。

14.2. (a) 完了したレースが３レース以下の場合、艇のシリーズの得点はレース得点の合計とする。

(b) 完了したレースが４レース以上の場合、艇のシリーズの得点は、最も悪い得点を除外したレースの得点の合計とする。

15. 新型コロナウィルス感染拡大防止対策

15.1. 新型コロナウィルス感染拡大の状況によっては本大会を中止する場合もある。

15.2. 大会関係者(運営・選手)は、大会２週間前から体温測定し、当日も平熱であれば参加可能である。

15.3. 大会参加者及び引率者、大会運営スタッフは、受付・計測日を含む大会期間中は、毎日ハーバー来場前に「ＷＥＢ体調申告」にて体温・体調の申告を行うこと。ＷＥＢ体調申告フォームへのリンク は、大会前日までに大会公式ＨＰへ公開する。

15.4. 本大会の公式掲示及び諸連絡の掲示、プロテスト公式掲示及び 42 条掲示は、「オンライン掲示版」にて掲示する。各自の携帯電話又はパソコンからアクセスし、掲示内容を確認すること。掲示版ＵＲＬは大会前日までに大会公式ＨＰへ公開される。

15.5. 全ての参加者はハーバー内では原則マスクを着用すること。海上において選手の場合は任意とするが、支援艇乗船者は原則マスクを着用すること。

15.6. こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。

15.7. 他の参加者、運営スタッフ等との距離を確保すること(できるだけ２m 以上/障がい者の誘導や介助を行う場合を除く)。

15.8. 大会開催中は大きな声での会話、応援等をしないこと。

15.9. 感染拡大防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと

15.10. 大会当日までに体調不良などの理由による不参加申し出に関して参加料は振込み手数料（一律 1,000 円）を差し引いた金額を返却する。また、以下の事項に該当する場合は自主的に参加を見合わせること。
(*)エントリー取り消しの申し出は下記「NOR2０.問い合わせ先」まで速やかに連絡のこと。

15.10.1. 体調が良くない場合（発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合）。

15.10.2. 同居家族や身近な知人に新型コロナウィルスの感染が疑われる方がいる場合

15.10.3. 大会当日 14 日前以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。

15.11. 上記を遵守出来ない参加者には他の参加者の安全を確保する等の観点から本大会の参加を取消た り途中退場を求める場合がある。

15.12. 大会終了後２週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速や濃厚接触者の有無等について報告すること

今大会は、JSAF「セーリング競技大会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」に沿って実施する。
参照 URL:
https://www.jsaf.or.jp/hp/about/committee/soumu/cvgeo

16. 賞

16.1. レーザースタンダードクラス及びレーザーラジアルクラスの参加者のうち、どちらか多いリグのチャンピオンに全日本マスターズ総合チャンピオンとしてラダー型トロフィ(持ち回り)が授与される。

16.2. ILCA のキューブの授与は各カテゴリーのエントリー数が５艇以上で成立し、各カテゴリーのチャンピオンに ILCA のキューブが授与される。

16.3. レーザーラジアルクラスの女性チャンピオンには ILCA のキューブが授与される。

16.4. 各カテゴリーの第１位～第３位の選手に賞が授与される。

17. 責任の否認

このレガッタの競技者は自分自身の責任で参加する。RRS4「レースをすることの決定」を参照。 主催団体は、レガッタの前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

18. レガッタ不成立

強風、無風、降雪、地震等自然災害、事件、事故等により大会不成立の場合には、参加料の返金はしない。

19. 肖像権

競技者は、本大会に参加することにより、大会期間中の競技者または競技者の装備に関する動画、写真等の映像について、その競技者に予告なく主催団体の判断で使用する権利を主催団体に与えるものとする。
競技者は、有効な傷害保険と賠償保険に加入していなければならない。

20. 問い合わせ先

レーザー境港フリート 谷口 昭文
電話：090-1181-8593
メールアドレス：aktaniyan.cn@gmail.com

添付図 1 レース海面図

その他の情報

1. 宿泊・交通等 大会ホームページ http://sail.jpn.com/にて紹介。公共マリーナ駐車場での車中泊可、キャンプ場へのテント設営は公共マリーナ事務所に直接申込

2. 軽食等 Day1 の昼食は各自準備ください。
Day2 の着艇後は簡単な軽食を用意します。

3. チャーター艇
数艇あり(ハル、スパー、船台のみ、フォイルは①、②で異なる)
※遠方・先着を優先
チャーター料：
①ランクA：20 万番台の新古艇 25,000 円(フォイル提供可能)
②ランクB：上記以外のクラブ艇 10,000 円(フォイル提供不可)

チャーター申し込みは電話またはメールにて必ずエントリー前に行い、参加料と併せて NOR5 の口座に振込んで下さい。
チャーター艇の申し込み、問い合わせは「NOR20.問い合わせ先」まで

4. レセプションの実施不可について
コロナウィルス感染拡大防止の観点により、マスターズセーラー・レディースセーラーお楽しみの レセプションは、残念ながら実施できなくなりました。 境港のカニを楽しみにされている方もいらっしゃると思いますので、カニまたは他の海産物を参加賞（直送可能）として提供させていただきます。詳細は受付時に案内します。

2021 Laser All Japan Championships
山口県光市 山口県スポーツ交流村
第１候補日程 2021 年 11 月 20 日-11 月 23 日
第２候補日程 2021 年 12 月 24 日-12 月 27 日

主　　催：一般社団法人 日本レーザークラス協会
大会運営：一般社団法人日本レーザークラス協会
　　一般社団法人山口県セーリング連盟
公　　認：公益財団法人日本セーリング連盟（申請中）
後　　援：山口県（予定）、光市（予定）
　　光市教育委員会（予定）、光市体育協会（予定）
協　　力：一般社団法人山口県セーリング連盟
協　　賛：パフォーマンスセイルクラフトジャパン㈱
　　ルースターセーリングジャパン 他
競技種目：レーザークラス
　　レーザーラジアルクラス
　　レーザー４.７クラス

NOTICE OF RACE

1. 適用規則
1.1. 本大会は 2021～2024 年セーリング競技規則(以下、規則)、クラスルール、 SAILING INSTRUCTIONS、本 NOTICE OF RACE により行う。
1.2. 本大会の全ての規則を決定するのは次の通りとする。
1.2.1. [DP]は、プロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する規則を意味する。
1.2.2. [NP]は、この規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは規 則 60.1(a)を変更している。

2. 広告
競技者広告は、クラスルールに定められたとおりとする。

3. 参加資格
3.1 競技種目は以下のとおり。
・レーザークラス
・レーザーラジアルクラス
・レーザー４．７クラス
3.2. 以下の３点をすべて満たしていること。
3.2.1 日本レーザークラス協会の 2021 年度メンバーであること。
3.2.2 日本レーザークラス協会において年度の「All Japan Championships 参加資格」を確認されたものであること
参照 → http://www.laserjapan.org/rfmc
3.2.3 日本セーリング連盟(JSAF)の 2021 年度会員であること。
3.3 日本セーリング連盟(JSAF)会員証およびレーザー協会会員証を受付時に提示すること。申請中で会員証を持参できない場合は、会費の入金確認のできる領収書または銀行振込書を必ず持参すること。
当日、上記書類が揃わない場合、参加できない場合がある。

4. 参加申込
4.1. 参加資格のある艇は参加申込締め切り日までに http://sail.jpn.com にてオンラインエントリーを行い、参加料の入金を確認できたことにより、申込を完了する。
4.2. 大会ホームページ http://sail.jpn.com にてオンラインエントリーを行い、下記口座に参加料を振り込むこと。
4.3. 振込先：**横浜銀行 長後支店 普通６１１１５６０**
シャ）ニホンレーザークラスキョウカイ
4.4. 公示６に示される第１候補の参加申込期間は、**2021 年 10 月 27 日（水）から 2021 年 11 月 7 日（日）**とし、第２候補の参加申込期間は、**2021 年 11 月 30 日（火）から 2021 年 12 月 11 日（土）**とする。レイトエントリーは行わない。
4.5. エントリー締め切り後の参加料送金遅延者は 1,000 円の遅延金を受付時に支払うことで申込が 完了する。第１候補の参加申込締切日（11 月 7 日）後の不参加申出期間については**11 月 17 日**までとし返金手数料（一律 1,000 円）を差し引いた金額を返却する。11 月 18 日以降は、参加料の返却はせず得点記録 DNC として記録する。第２候補の参加申込締切日（12 月 11 日）後の不参加申出期間については**12 月 21 日**までとし返金手数料（一律 1,000 円）を差し引いた金額を返却する。12 月 22 日以降は、参加料の返却はせず得点記録 DNC として記録する。
4.6. 第１候補または第２候補日程での大会開催を中止する場合、参加料は、送金手数料を除き、返却される。

5. 参加料
14,000 円

6. 日程
6.1. CORVID-19 の感染状況を踏まえ、下記の通り、第１候補または第２候補日程で大会を開催する。大会開催の可否は、第１候補については**10 月 26 日（火）**、第２候補については**11 月 29 日（月）**に大会ホームページで公表する。
6.2. 第１候補日程

	Date	Event	Time
Day1	11 月 20 日 （土）	大会受付 計測	13:00-16:00 13:00-16:00
Day2	11 月 21 日 （日）	大会受付・計測 開会式・ブリーフィング 第１レース予告信号 引き続きレースを行う。	08:00-09:30 09:45 11:55
Day3	11 月 22 日 （月）	ブリーフィング その日最初のレース予告信号 引き続きレースを行う。	08:30 09:55
Day4	11 月 23 日 （火）	ブリーフィング その日最初のレース予告信号 引き続きレースを行う。 閉会式	08:30 09:55 16:30

6.3. 第２候補日程

	Date	Event	Time
Day1	12 月 24 日 （金）	大会受付 計測	13:00-16:00 13:00-16:00
Day2	12 月 25 日 （土）	大会受付・計測 開会式・ブリーフィング 第１レース予告信号 引き続きレースを行う。	08:00-09:30 09:45 11:55
Day3	12 月 26 日 （日）	ブリーフィング その日最初のレース予告信号 引き続きレースを行う。	08:30 09:55
Day4	12 月 27 日 （月）	ブリーフィング その日最初のレース予告信号 引き続きレースを行う。 閉会式	08:30 09:55 16:30

ただし、天候その他の事情により日程はレース委員会の裁量で変更することがある。 最終日には、13 時 30 分より後に予告信号を発しない。
各日とも海上で昼食をとることがある。

6.4. レース数 クラス別に７レースの実施を予定する。
クラス別に７レースの実施を予定する。

7. レース方式

参加艇数に応じて「２パートスタートライン」や、「フリート分けによる予選/決勝シリーズ」を 行う場合がある。

8. 計測

8.1. 各艇は、計測を受けなければならない。
8.2. 計測は、テクニカル委員会の判断により、この他の日程に行われることがある。
8.3. 大会期間中、テクニカル委員会は随時、艇または装備の検査をすることがある。

9. [DP] [NP] 安全

9.1. 艇は、直径６㎜以上、長さ５m 以上のバウラインを搭載し、その一端はバウアイに結び付けら れていなければならない。
9.2. マストトップに浮力体を取りつけても良い。形状は球形に限り、１箇所のロープで取り付けな ければならない。コンディションにより、付けたり外したりしても良い。

10. SAILING INSTRUCTIONS

第１候補日程の SAILING INSTRUCTIONS は、11 月８日までに、第２候補日程については、12 月 12 日までに大会サイト http://sail.jpn.com より入手できる。

11. 開催地

大会会場：山口県光市山口県スポーツ交流村及びその沖の海面
レース・エリア：おおよそのレース・エリアを添付図１に示す。

12. コース

トラペゾイドコースまたは風上－風下コースを予定している。

13. 得点

シリーズの成立には 2 レースを完了することが必要である。

14. 支援艇

14.1. 全ての支援艇は、大会ホームページで第１候補日程では **11 月７日（日）**まで、第２候補 日程では **12 月 11 日（土）**までに登録を行わなければならない。
14.2. 登録料として１艇につき 3000 円（無線機貸与料を含む）を大会受付時に支払うこと。
14.3. 支援艇は，有効なヨット・モーターボート保険（対人対物賠償責任保険）に加入していなけれ ばならない。
14.4. 支援艇の艇長は「船舶検査証」および「小型船舶操縦士免許証」の写しを大会受付時に提出 しなければならない。
14.5. 支援艇は、レース委員会から要請された場合、レスキュー活動を行うものとする。また、大 会主催者から貸与される無線機を携帯して出航し、やむを得ない場合を除き、常に指定され たチャンネルを受信していなければならない。

15. ドーピングコントロール

15.1. 本大会は、日本ドーピング防止規定に基づくドーピング検査対象大会である。
15.2. 本大会参加者は、エントリーした時点で日本ドーピング防止規定にしたがい、ドーピング検 査を受けることに同意したものとみなす。
15.3. 20 歳未満の者については、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続に対する親 権者からの同意書を受付時に提出すること。
下記リンクよりアンチ・ドーピング「未成年競技者親権者承諾書」をダウンロードし記入す ること。
参照リンク：http://jsaf-osc.jp/cn04/pg13-1.html
15.4. 本レガッタ参加者は、本レガッタにおいて行われるドーピング検査（尿・血液 等検体の種類 を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸 事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピン グ規則違反となる可能 性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本 アン チ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
15.5. レガッタ・レガッタ外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運 動終了後２時間の安静が必要となるので留意すること。
15.6. 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日 本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト（http://www.playtruejapan.org）にて確認する こと。

16. 賞

16.1. 各クラス、「レーザークラス規則付則」に基づき、成績上位者には「レーザーキューブトロフ ィー」が授与される。
16.2. 各クラスの All Japan Championships 優勝者（２位以降を含む）は「日本レーザークラス協 会メンバー」に与えられる。

17. クオリファイ

「2022 年 ILCA 7(Standard)/ILCA 6(Radial)世界選手権等代表選手選考方針」及び「2022 年 ILCA 6(Radial)ユース/ILCA 4(４．7)ユース世界選手権等代表選手選考方針」を参照のこと。

18. リスク・ステートメント

RRS 3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内 在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これら のリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟 な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

19. レガッタ不成立

強風、無風、降雪、地震等自然災害、事件、事故等によりレガッタ不成立の場合には、参加料の 返金はしない。

20. 肖像

20.1. 競技者は、本レガッタに参加することにより、レガッタ期間中の競技者または競技者の装備 に関する動画、写真等の映像について、その競技者に予告なく主催団体の判断で使用する権 利を主催団体に与えるものとする。

20.2. 大会参加者は、主催者の許可なく大会会場（スポーツ交流村ヨットハーバーおよびレース海 面）にてドローンを飛行させてはならない。

21. 保険

競技者は、有効な傷害保険と賠償保険に加入していなければならない。

22. 新型コロナウイルス感染拡大防止対策

競技者及び支援者等は、別紙１「新型コロナウイルス感染拡大防止対策」を遵守しなければならない。

23. 問い合わせ先

一般社団法人 日本レーザークラス協会
奥津 ilcajpn@cityfujisawa.ne.jp

スポーツ振興基金助成事業
独立行政法人日本スポーツ振興センター

添付図１ レース海面図

その他の情報

１．宿泊

（１）スポーツ交流村

ユース選手とその引率者（成人）および一般選手について、エントリーが完了した順に先着 40 名程度、下記①～⑥の区分けにより、スポーツ交流村の宿泊を受け付けます。

宿泊希望の方は、エントリー完了後、宿泊申請書（大会ホームページでダウンロード）に必要事項を記入して大会事務局にメールで送付してください。折り返し、宿泊につきご返信致します。宿泊費は大会受付時に支払ってください。

2021 Laser All Japan Championships
大会事務局　スポーツ交流村宿泊担当
花田りさえ 2021alljapanlaser@ygsailing.org

記

① 19 歳未満　２泊３日朝夕食付
（11 月 21-23 日/12 月 25 日-27 日） 3,200 円
② 19 歳未満　３泊４日朝夕食付
（11 月 20-23 日/12 月 24 日-27 日） 3,600 円
③ 19 歳未満　３泊４日朝夕食付
（11 月 20-23 日/12 月 24 日-27 日） 4,500 円
④ 19 歳以上　２泊３日朝夕食付
（11 月 21-23 日/12 月 25 日-27 日） 6,500 円
⑤ 19 歳以上　３泊４日朝夕食付
（11 月 20-23 日/12 月 24 日-27 日） 8,600 円
⑥ 19 歳以上　３泊４日朝夕食付
（11 月 20-23 日/12 月 24 日-27 日） 9,500 円

※ ②⑤の 11 月 20 日（土）夕食なし、21 日（日）朝食ありです。21 時までに入村してください。
③⑥の宿泊者は 19 時までに入村し 19 時から 20 時にレストランで食事を済ませてください。

なお、スポーツ交流村は公共の合宿施設ですので、宿泊される方は以下の注意点に留意し、ルール順守でご使用ください。ご協力のほどよろしくお願いします。

注）＊ユース選手については引率者（成人以上の一般選手を含む）の宿泊が必要です。
＊初日の入室の際、全宿泊者を対象としたオリエンテーションに参加していただきます。個別でのチェックインはできませんのでご注意ください。
＊1 部屋３名の部屋となります。

＊朝食と夕食は、決められた時間に交流村レストランでお摂りいただきます。
食事のキャンセルは受け付けません
＊門限は午後９時です。午後 11 時から翌朝午前７時までの外出は不可となります。
＊最終日の朝、部屋ごとに全員で定められた要領に従って清掃していただきます。
＊籠め宿泊責任者による各部屋の清掃確認を受けた後、チェックアウトとなります。
＊領収書が必要な方は、事前に大会事務局にメールで申し出てください。
＊食事に関して、アレルギーがある方は、事前に申し出てください。

（２）その他宿泊施設(参考)
光市観光協会（市内宿泊情報）
https://www.hikari-kanko.org/genre/tomaru/
冠山総合公園オートキャンプ場
https://kanmuriyama-park.com/park/autocamp/

3. 艇置料レーザー240 円/日
支援艇 4.5m 以下 240 円/日、5.5m 以下 300 円/日
※レーザーおよび支援艇の艇置料は大会受付時に支払いを行ってください。
（艇置料は参加料と一緒に振り込まないで下さい。）

4. チャーター艇
チャーター艇を複数艇準備
（ハル、スパー、フォイル、船台のみ）。
詳細はグレードごとに大会ホームページに公示。
＊チャーター料は大会受付時払い。
＊チャーター艇を希望する選手は、大会ホームページ http://sail.jpn.com/ にて第１候補日程については、**９月 21 日から 10 月４日**まで、第２候補日程については、**10 月 27 日から 11 月７日**までに申し込みを行ってください。
希望者多数の場合、大会実行委員会により抽選及び配艇を行います。
チャーター艇抽選日：第１候補 **10 月５日**
第２候補 **11 月８日**
チャーター艇抽選結果発表：大会ホームページ
http://sail.jpn.com/

CAPSIZE

真ん中のセンターボードを持っているのが大井キャプテン

山口フリート・キャプテンの大井正典さんを紹介します。

山形生まれの 50 うん歳、フリートでは「マッサン」と呼ばれています。４年前、女房・子供を自家の茨城県つくば市に残して、山口県の防府市に単身赴任中。山口フリートには赴任後すぐに加入、メンバーに暖かく迎えられ、あれよあれよという間に２年前からキャプテンに任命され（押し付けられ？？）ています。どうにか山口フリートを気に入ってくれたようで、定年まで山口にいると言っています。

この人そうとうなヨット好きは確かなのですが、それだけでなく、遊び好きというか、遊び上手というか、単身赴任をよいことに週末をフルに活用し遊び回っているようです。

山口に来た当初は、金曜の晩から温泉巡りをし、山口及び九州の有名な温泉はほとんど制覇したと豪語しています。

食べることが大好きで自分でも料理をする料理好き男子でもあります。山形の男は芋煮が作れないと一人前ではないと、秋には毎年クラブハウス(CapeHouse)で芋煮鍋を作り芋煮会を開いています。又、握りずしが得意料理で、魚の仕入れから捌き・仕込みまで行う本格派です。最近では尊敬を込めて（寿司屋）「寿司まさ」のマッサンとも呼ばれています。

コロナ以降はさすがに温泉巡りも思うようにならないのか、このところ土・日は毎週まじめにメンバーとクラブハウスに泊まり込んでヨット練習に励んでいるようです。何しろ練習後に一杯やりながら、クラブハウスで寛ぐのは最高のひと時ですから!!!!!

山口フリートにはマッサン以外にも料理好き、腕自慢の料理人が綺羅星のようにいます。日本一「メシの美味い」フリートではないかと自負しています。１０月に予定していた中国選手権が中止になり本当に残念です。コロナが収まりましたらぜひ山口フリート、CapeHouse にお越しください。料理自慢が待っています。

（文：　目（さっか）　光正）

FINISH LINE

秋もめっきり深まり、３か月ほど前の東京 2020 の熱気が遠い昔のことのように思われる。

そのころは、レーザーニュース 246 号には、東京 2020 関連のレポートや写真をたくさん掲載する予定であったが、事前情報として写真の掲載は簡単ではないとの情報は得ていた。

そのため、246 号の編集を開始するにあたり、改めて「公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会戦略広報課」に掲載の可否を問い合わせた。担当者の判断を容易にするため、レポートや写真の掲載の可否につき次の５つの状況に分けて問い合わせた。

１．参加した本人の作成したレポート
２．本人以外の関係役員・ボランティアが作成したレポート
３．参加した本人が撮影した写真
４．本人以外の関係役員・ボランティアが撮影した写真
５．レース海面から離れた陸上または海上から一般市民が撮影した写真

組織委員会からの回答は、「1，2 以外は掲載不可」とのことであった。東京 2020 関連の写真は組織委員会から購入してほしいとの回答であった。また TOKYO2020 関連のロゴ等に関しても、知的財産権が絡むので別途問い合わせてほしいとのことであった。レポートの掲載は問題ないのであるが、写真やロゴの使用はハードルが高いと判断した。

７月下旬のある日、自宅ベランダから東南東の方向のレース海面を双眼鏡で確認すると多くのレース艇を確認できた。しかしながら、鮮明な写真は撮れないと思い実際には写真は撮らなかった。撮っていたとしても掲載不可と言われるとは予想だにしていなかった。しかしながら、最終的に、246 号に掲載された東京 2020 関連の写真は、レーザーニュース編集関係者の熟慮の上選択されたものである。

（ニュース委員長　重松貴）